

- 3…会員名簿まもなく発行
- 4…体育祭
- 目 8…平成元年度卒業生の進路
- 11…クラブ活動
- 17…がんばってます
- 次 22…会員だより
- 24…会費・寄附一覧

# 白水会報

発行所  
 大阪市立泉尾工業高等学校内  
 大阪白水会  
 〒 551  
 大阪市大正区泉尾5-16-7  
 TEL 大阪 552-2221代  
 振替 大阪 4-82966  
 発行人 上野 勇  
 編集責任者 六辻 丈夫



気象衛星「ひまわり」受信装置 (E科)



自動ニッティングシステム (S科)

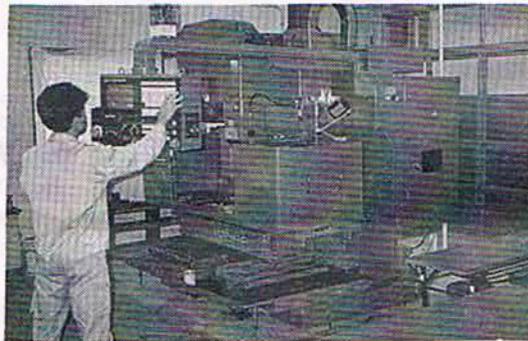


電子顕微鏡 (C科)

## 各科最新設備の紹介



C.C.M.システム (D科)



マシニングセンター (M科)



液体クロマトグラフ装置 (A科)

### 創立70年を ひかえて

二年先の平成4年には、母校は創立七十周年を迎える。

化学系の工業学校として発足したが、昭和14年には現在の機械科の前進である化学機械科を、そして38年には電気科を設置し、総合的な工業高校としての姿を整えてきた。

いずれもその時代の要請に応える形での一つの飛躍であった。

技術革新の急速に進む現在、ハイテク時代の先端をいく実習設備が各科の実習室に次々と設置されてきている(その一端を、上に写真で紹介させていただいた)。

生徒達は、これらの設備に目を見張り、そして興味深く意欲的に取り組んでいるという。時代の先端部分に身を置いているという自覚と誇りのなせる技か……。

しかし、その一方で工業高校を取りまく社会状況は、創立当時と比べものにならないくらい変化してきている。また、高校生の急激期がまさに始まらんとしている。泉尾工業高校は、「古稀」を迎え、新たな進路を今まさに切り開かんとしている。

卒業生諸氏の叡知と強力なバックアップの結果を心から願うものである。



ありがとう  
第二グラウンド

昨春秋、泉工に待望の第二グラウンドが実現しました。グラウンドが非常に狭い泉工において、第二グラウンドの確保は、十数年にわたるみんなの願いでしたが、やっと、

この願いがかなえられました。この願いの実現にむけて、泉工の校長先生はじめ諸先生方、教職員組合、PTAとともに白水会もいっしょになって取り組み、大正区選出の三名の市会議員の協力も得て、教育委員会に請願し、この度実現するはこびとなったものです。

現在、体育の授業に有効に活用されるときに、テニス、バスケ、バレー部など運動部活動に大きな役割を果たしており、生徒、教職員からたいへん喜ばれております。(大正区泉尾7-1-6)  
(金網越しに見る第二グラウンド)

平成元年度事業報告

①会報の発行 7/5

②総会の開催

・東京支部総会 5/26  
・本部総会 7/21

③会員名簿発行事業  
(詳細は別記)

④母校後援事業

・卒業生を囲む会 6/14・20・21・22  
・母校教育後援会に対する財政援助(十万円/年)

⑤諸会議

・会長・副会長会 6/9  
・新旧会長・副会長・常任理事 9/22  
・理事会 6/9 11/8  
・常任理事会及び名簿発行委員会をひんばん

平成元年度 大阪白水会 決算報告

<一般会計>

収入総額	3,267,171円	
支出総額	2,846,977円	
差引額	420,194円	
収入の部		
項 目	予算額	決算額
前年度繰越金	205,130	205,130
予納金	1,000,000	950,900
費	1,150,000	1,742,100
金利息	5,000	7,939
雑収入	430,000	361,102
合 計	2,790,130	3,267,171
支出の部		
項 目	予算額	決算額
会報作成費	1,800,000	1,867,335
総会費	300,000	248,000
新入会員歓迎費	150,000	161,700
退職記念品料	110,000	103,000
会議費	160,000	205,338
教育後援会分担金	100,000	100,000
出張費	130,000	75,210
事務・通信費	20,000	51,334
雑費	20,130	35,060
合 計	2,790,130	2,846,977

積立金会計

<<決算報告>>

収入総額	4,301,962円
支出総額	0円
差引額	4,301,962円
収入の部	
項 目	金 額
前年度繰越金	3,335,390円
新本館・体育館 竣工記念募金残金	446,486円
預金利息	520,086円
合 計	4,301,962円
以上のとおり決算報告いたします 会計 佐々木 実◎ 白 戸 弘◎	
監査の結果、正確であることを認めます 平成2年5月19日 会計監査 山 畑 阿 威 啓◎ 田 中 豊 三◎	

<<予算案>>

収入総額	4,351,962円
支出総額	0円
差引額	4,351,962円
収入の部	
項 目	金 額
前年度繰越金	4,301,962円
預金利息	50,000円
合 計	4,351,962円

平成2年度 大阪白水会 予算案

<一般会計>

収入総額	3,225,194円
支出総額	3,225,194円
差引額	0円
収入の部	
項 目	予 算 額
前年度繰越金	420,194円
予納金	950,000
費	1,550,000
預金利息	5,000
雑収入	300,000
合 計	3,225,194円
支出の部	
項 目	予 算 額
会報作成費	2,000,000円
総会費	300,000
新入会員歓迎費	180,000
退職記念品料	180,000
会議費	200,000
教育後援会分担金	100,000
出張費	120,000
事務・通信費	85,000
雑費	60,194
合 計	3,225,194円

### 会員名簿まもなく発行

一昨年の理事会で名簿発行が決議され名簿発行委員会を中心となつて、準備が進められて来ました。この間、理事各位には二回にわたり名簿確認・調査の依頼を申し上げるとともに、会員各位にも不明者の確認に協力を呼びかけてまいりました。

しかし、クラスによっては何度も連絡を取りあつて、ほぼ完璧な名簿を送つて下さるクラスがある一方、返事すらいただけないクラスがかなりあります。

このため、残念ながらクラス毎の判明率にかなり差が生じたものになっております。

また、名簿購入を積極的にすすめられたクラスや賛助金・協賛広告にご尽力いただいた方々も多数おられます。理事の中には、仕事を時間をさいて取引先からの協賛広告応募をはかれた方もおられます。このようなみなさまのおかげで、財政的には十分ゆとりのある状況の中で名簿発行を迎えることが出来ました。

ありがとうございます。

ところで、六月上旬に発行を予定しておりましたが、転居・転退職・住居表示の変更等で郵便物の届かない方が多く、これら居所不明者の確認作業に手間取り、発行

が約二カ月程遅れる見通しです。ご了承お願い申し上げます。

尚、次の点もお願い申し上げます。

- ① 今後とも住所・勤務先等が変更されましたら、ご連絡下さい。印刷の都合で、今回の名簿に間に合わなくとも、基礎データとしてコンピュータ入力しております。
- ② 今からでも名簿購入の申込みが出来ます。送料とも一部四千円です。若干余分に印刷しますが、申込多数の折は、先着順とさせていただきます。

### 科別名簿申込状況

(1990.6.15.現在の入金数)

科	S	D	C	A	M	E	旧職	計
協賛広告申込	22	46	10	27	49	10	—	164
賛助金申込	35	26	23	33	22	8	6	153
名簿購入申込	217	264	193	361	242	112	23	1412
合計	274	336	226	421	313	130	29	1729

母校の創立70周年も近い際でもあり、名簿作成上から見た泉工の歴史をかいま見ることにした。① 今回の名簿では、旧製の泉尾工業学校(以下工業学校と略す)と昭和23年発足の新製の泉尾工業高等学校(以下工業高校と略す)とは、それぞれ別稿にした。すなわち、昭和24年には旧製の工業学校卒業生と新制工業高校卒業生の二者がおられるが、前者を旧制工業学校の最終卒業生(第27回卒業)とし、後者を新制工業高校の第1回卒業生として取り扱った。

② 昭和23年4月の新学制公布にしたがい、昭和23・24年卒業生は上級学校へ進学した方、就職した方と新制高校へ編入された方に分れた。新制高校へ編入と言つてもそのほとんどは工業高校への編入であるので、この方々は今回の名簿では工業学校と工業高校のそれぞれの年にお名前が出て来ることになる。

したがって、諸連絡も二通お届けすることになる。(事務処理上どちらか一方というのは、かえってまちがいのものになりますので悪しからずご了承下さい)。

③ 昭和16年度より「中等学校最上級学年在学者ニ対スル臨時措置ニ関スル件」と題する通牒により、三カ月繰上げ卒業となった。したがって、昭和16年には3月に卒業した方と12月(本来なら17年3月)の方とがおられることになる。この措置は17年・18年度も実施されたために、16・17・18年12月卒という表記を採用した。

振替用紙等に3月・12月卒と書き入れてあるのはこのためである。

④ 昭和19年2月16日に「国民学校令等戦時特例」が出され、昭和19年度より修業年限が一年短縮された。その結果、昭和20年3月卒業生は、規定の5年で卒業した方(昭和15年入学)と一年短縮のため4年で卒業した方(昭和16年入学)とがおられる。

### 名簿と泉工史の一断面

名簿では、前者の方を(5年卒)、後者の方を(4年卒)として扱っている。

この制度は、昭和21年3月に廃止されたが、同年2月23日付の「中等学校修業年限延長実施ニ伴フ措置ニ関スル件」という文部省通知により、昭和17年入学の4年生については、①5年に進級、②4年で修了し上級学校へ進学、③4年で卒業のいずれかを希望することが出来た。したがって、①の方は22年卒業、②③の方は21年卒業生として扱っている。

⑤ 泉尾工業学校在学中に陸海軍諸学校入校者並びに海軍甲種予科練習生に採用された方々のうち昭和20年8月16日以降復員された方については、昭和20年11月10日付をもって「卒業トス」という扱いになっている。この扱いを受けている方は、五科27名にわたっているが、いずれも入校時または採用時に在籍した学年を卒業したものととして扱い、特別の表記をしなかった。

⑥ 昭和12年に、応用化学科に二部が併設され、昭和13・14・15年と卒業生を送り出している。二部とはどのような存在なのか、今もって不明な部分が多いのであるが名簿には「応用化学科二部」として掲載した。

⑦ 「応用化学科二部」について、ご存知の方はご教示下さい。

⑧ 昭和22年4月に併設中学(新制)が泉尾工業学校に併置され、昭和23・24年に卒業生を送り出している。

しかし、旧学制と新学制との移行措置として設置されたと考えられ、その卒業生はほぼ泉尾工業高校に移行しているため、前回名簿と同様に掲載を見あわせた。

⑨ 昭和19年に学則が改正され、戦時下であるために紡織科・色染科が廃科された。そして在学中の3年生は、他科に移籍させられた。この結果、例えば色染科においては、昭和22年・25年の卒業生は存在しないことになった。

# 体 育 祭

<今年のテーマ> ファイト一発!!



		優勝	2位	3位
競 技	総合	C	M	A
	1年	M <sub>2</sub>	C	M <sub>1</sub>
	2年	M <sub>1</sub>	C	A <sub>1</sub>
	3年	C	D	A <sub>2</sub>
応 援 背 景	M	A	D・C	—

今年の体育祭は、5月30日に好天気のもと本校々庭で開催されました。今年の成績は次の通り。

尚、自由参加の仮装は色染工業科が優秀賞、繊維工業科が努力賞でした。

泉工のために長年ご尽力いただきました次の先生方が本年ご退職・ご転任されました。  
長い間ありがとうございました。先生方の今後の御健康と御活躍をお祈りして感謝の意いたします。

## A. E. T. とともに

国際化の波の押し寄せる現代、本校でも三年前(63年9月)より、アメリカやイギリス等から A. E. T. すなわち Assistant of English Teacher (英語指導助手) に来てもらっています。

本校生徒達に生の英語に触れてもらい、少しでも国際理解を深めてもらうことを英語科でも願っております。

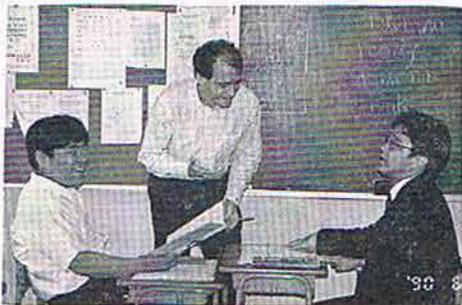
なお現在は、アメリカ人の J. ミードさんに毎月、火曜日に一年生クラスを担当していただいております。原則として学期ごとに人が変わったりしますので、今の方は七代目の A. E. T. となります。(泉工英語科)

## はじめまして

氏 名	教 科
堤 孝之	国 語
松木 知子	国 語
樺島 一敏	社 会
山本 哲也	繊維工業
明比 学	繊維工業
青木 俊昌	工業化学
川岸 光	工業化学
井上 宣哉	工業化学
山田 倍男	電 気
松下 真治	電 気
原 佳正	電 気

## 長い間、ありがとうございます

氏 名	教 科	
川島 稔夫	繊維工業	ご退職
増成 徹郎	繊維工業	ご退職
堀田 幸利	色染工業	ご退職
松本健太郎	工業化学	ご退職
西原 義秀	庶 務	ご退職
近藤 太一	国 語	転勤、扇町高校へ
山本 章夫	社 会	転勤、東高校へ
北村 翼	工業化学	転勤、教育センターへ
椎名 隆二	電 気	転勤、生野第二工業高校へ
村田 光直	電 気	転勤、東淀工業高校へ
平野 猛	電 気	転勤、此花工業高校へ



綿及混紡メリヤスニット  
生地・製品染色加工仕上 (創業50余年)

**忠** 株式会社 黒川染工場

代表取締役 黒川 忠 司 (D32卒)

工場 〒534 大阪市都島区東野田5丁目11番24号  
TEL (06)924-3358 FAX (06)924-3520

倉庫 〒536 大阪市城東区野江1丁目2番11号

●関連会社 大黒工業(株)  
株 ティケイテック

繊維工業科だより

卒業生の皆様、ますますお元気で活躍のことと存じます。

長い間繊維工業科のため尽力された川島稔夫、増成徹郎、両先生がこの三月で定年退職されました。

それぞれ30年、40年と長期間にわたり、繊維工業教育のため、又我々後輩の指導のためと、功績は大変大きなものがあります。

二先輩から教えて頂いた地味な努力をモットーとして、技術革新に対応した工業教育に取り組んでいきたいと思っております。

内容的には昨年の会報でも御報告しましたように、繊維をベースとして、デザイン技術と情報技術の二本柱となっております。

教員自身が年々研修を積みながら、教育内容の質的向上をはかり、生徒達に喜ばれ且つ役に立つ技術教育をめざして努力しております。

繊維工業科のメンバーは新任の山本哲也先生(信州大卒、二十九才)・明比学先生(東淀工高電気科卒十九才)と里崎・中野・大石・木原・桑原の計7人です。

在校生は三学年ともほぼ男女半々で、就職状況もこのところ大変良好です。

色染工業科だより

さて昨年の白水会総会で参加されたOBの方々より是非、紡織会(名称は問わない)を復活させてほしいと要望がありました。学校側としても、準備してまいりましたが、5月22日(金)の白水会理

色染工業科だより

卒業生のみならず、平素は後輩のために何かとご支援をいただきまして、ありがとうございます。

みなさま方が、折にふれ色染工業科をお訪ね下さったり、染料・薬品・各種資材等を提供して下さいていることを、後輩諸君は常に目のあたりに見て、心にとめてい

るようであります。このようなことの積み重ねが、色染工業科に在学した者結びつ

ける目に見えない強い力となっているのではないかと、感謝いたしております。

事会の折にも相談させて頂き、一挙に今度の白水会総会の時に復活したいと願っております。

別紙案内にありますよう是非、多数御参加御協力お願い致します。

最後になりましたが、卒業生の皆様方の御健勝と御多幸を、心よりお祈り申し上げます。

誓い合いました。

また、遠足での学年をこえた夕テ割り班編成でのゲーム等、在学中からの上下の交流は、現在の社会においては貴重な体験の場であると考えております。本年の遠足は花博見学がほとんどであった中で、色染工業科はあえて生徒達が仁川ピクニックセンターを選らんだのも、この伝統を守るためであったようです。

ところで、今春は39年間にわたって色染工業科にご在職されました堀田幸利先生が停年退職を迎えられ、かわって本校工業化学科より佐々木俊次先生を後任として、お迎えいたしました。

堀田先生は、色染工業科の「生辞引」として、科のすみずみまで熟知されていただけでなく、長い経験に裏打ちされた見識で科長時代は勿論のこと常に色染工業科を

リードされ、いりました。四月からは非常勤特別嘱託として、火・水曜日に本校工業化学科にの実習を担当しております。

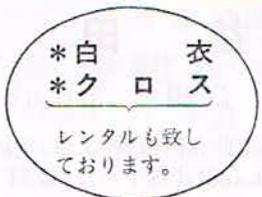
さて、本年は男15名、女25名の一年生を迎え、科全体では男33名女82名と、男女比がほぼ一対二に近づきました。しかし、クラス構成や業界の需要のことを考えると、男子生徒の入学増がもつとはかられねばと考えます。来年度以降は高校生が年ごとに減少し、数年を経ずして現在の三分の二近くになってしまいます。

このような事態に対する対応策を学校としても検討がはじめられてはおりますが、科の今後のあり方をも含めて、みなさま方のご意見をお寄せ下さい。そして、一人でも多くの受験生を迎えることが当面の大事かと存じます。

また、入学して来た生徒への将来を見こしたゆき届いた教育について、科一丸となって取り組んでおります。染色を中心として、色材全般・色彩管理を含んだ総合的な「色彩」に関する学科として、実習内容にも工夫をこらしております。

尚、秋の大阪市高校開放講座「染色入門」では、色染工業科職員その他に四名の卒業生諸氏が講師として、毎回ご協力下さり、受講生から多いに感謝されました。

クリーニングのことなら何でもご相談下さい。



総合クリーニング商社 有限会社 九条ランドリー

取締役社長 吉本恒夫 (D34卒)

本社工場 大阪市西区本田4丁目3番13号 TEL (06)582-0 2 4 6 (代)

### セラミック科だより

卒業生の皆様、ますますお元気で御活躍のことと存じます。平素はセラミック科の発展の為に数々の御尽力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

今年も引き続き岩崎先生は教務課へ、池中先生は生活指導課へ出向され、頑張っておられます。

今春新入生四十名(内女子三名)を迎え、生徒総数一一三名(内女子七名)でスタートしました。三年生はいよいよ科名変更後の第一回卒業生となります。ほとんどの生徒が就職希望です。古き良き伝統を引き継ぐと共に、新しい分野での活躍を我々は期待しています。

先輩諸氏の力強い御支援を今年も宜しくお願いいたします。

今年の校外学習は花博見学が多かったのですが、我々は新緑を求めて近鉄南生駒から暗がり峠を経て、府民の森へと足を延ばしました。たっぷり歩いたお蔭で快い汗を流すことができました。山頂からの眺めは抜群で、花博会場も見おろせる筈でしたが、生憎かすみがかかり充分見えませんでした。例年通り全員で校歌の練習をして体育祭の応援に備えました。

今年の体育祭は、総合の部、綱

引きの部、対科リレーの部でそれぞれ優勝しました。背景は、孔雀王、で一際目立ちました。新しい応援歌をここに紹介します。

セラミック応援歌

一、黄色と黒は僕らのしるし  
天下無敵のセラミック健児  
戦え！ 戦え！  
力の限り

黄色の団旗は勇者のしるし  
二十四時間戦えますよ  
セラミックマン  
セラミックマン

泉尾工業 セラミックマン

二、成績向上僕らの願い  
授業時間も戦いますよ  
学べ！ 学べ！  
真理をつかめ

炎のプロは僕らの誓い  
はるか世界で戦いますよ  
燃えろよ 燃えろよ  
泉尾工業セラミックマン

今年も五月十二日から市教委の依頼で、高等学校開放講座「陶芸入門」を開講しています。講師は阪口、岩崎両先生です。応募者は前回は大幅に上回って六人、競

争率は十九倍となりました。生徒急減期を迎えた折、入試にも波及して良い結果が出るよう、我々念願しています。

今春文部省から新教育課程が発表され、我がセラミック科も教育内容が変わります。我々は他校の先生方と協力して、新しい教科書や副読本の作製を行っています。将来を見越した内容にと原稿作成

### 工業化学科だより

卒業生の皆さん元気で活躍のことと思います。口頭は本科の為に協力下さりありがとうございます。本年も入れ替わりがあり、北村翼先生が市教委へ出られ、永らく勤めていただいた佐々木俊次先生が色染工業科教諭として移られ、松本健太郎先生は民間の会社に行かれました。

新しく、青木俊昌先生、井上直経先生、川岸光先生、非常勤嘱託として色染工業科より堀田幸利先生の新進気鋭とベテランの先生方を迎え教育に当たっております。

先年来お知らせしておりますバ イオ関連の実習の充実をはかり、その成果の一端を今夏の日本工業化学教育研究会で発表することになっております。

に四苦八苦しております。

昨年七月二十一日大阪白水会總會当日、泉寮会も開催され、大谷正男(十八年卒)会長をはじめ懐かしい顔ぶれがそろい、楽しい一時を過ごしました。泉寮会が増々発展するよう祈る次第です。

最後に皆様方のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

現在、科及び学校挙げての取り組みとして良い生徒の獲得があります。中学校や中学生へのPR活動をしております。中学生へ視覚で、うったえるためのカラー印刷のパンフレットを作りたいのですが、資金がなく困っています。良き後輩を獲得し育てる為にもご協力下さい。

なお本年度泉尾化学会総会は秋の予定です。

追伸 永らく本科に勤めておられました佐々木満寿先生が去る四月七日他界されました。ご冥福をお祈りいたします。

建築・木造・造作工事一式

株式会社 益 田 組

代表取締役 益 田 治 (C37卒)

〒554 大阪市此花区梅香2丁目2番17号  
TEL (06) 461-5212

\*商品写真 \*航空写真  
\*学校アルバム \*婚礼・見合

あらゆる証明写真も早く きれいな仕上り!

友仁堂写真館

山畑 阿威磨 (昭和33年)  
日本写真協会 会員

〒579 東大阪市瓢箪山町7-2 (近鉄奈良線瓢箪山駅下車)  
TEL (0729) 81-2765 FAX (0729) 84-8837

機 械 科 だ け

今春の卒業生は七八名で、今迄の総数は二七〇六名となります。本年度も機械科職員の移動はなく、十三名全員元気で頑張っております。非常勤講師として林賢先生(都二工教諭55卒)が6時間、座学を、上村先生(泉二工機械科長48卒)が3時間実習を担当されています。学級担任は別表の通りです。又進路指導課へ綾井・生活指導課へ丸岡・教務課長に西平・図書課へ三好の各先生方が夫々出向され頑張っておられます。

扱今年度は市機械教育研究会の幹事校に当り各先生方(会長本校校長・幹事長大西・会計佐々木、書記川村の各先生及び各科の職員)に協力を頂いております。大阪市の工業教育並に機械科教育推進の要としてその発展のための役割も大きくその責任も重大です。機械が進歩し自動化が進んでいる現在でも経験によって蓄積されたカン・コツの技能の重要性―ME化時代における不易と流行―も高まったとされている時、工業高校において基礎基本として必要なものは何か、又情報技術・課題研究等新らしい科目の導入の爲にも何を減らせるか等の研究の一部として機械設計、製図、工作の内容について

て検討します。

今年度は白水会の名簿改訂の時期であり、不明個所の調査確認や広告依頼の爲の会社訪問や、卒業生宅訪問等々日夜奔走し又白水会全体の会計の会計係としても佐々木先生が献身的な努力お骨折りされています。扱恒例の体育祭は五月三十日に無事好成績にて終了しました。すなわち背景の部は五連勝、応援の

電 気 科 だ け

今年、電気科にまた新しい実習装置が導入されました。昨年はロボット実習装置が導入されましたが、今年には通信実習装置が導入されました。装置の内容は気象衛星受信装置と光通信実習装置とから成り立っています。前者は気象衛星ひまわりからの信号を受信し、コンピュータで信号解析、画像処理の実験をするものです。このため電気科のある西館の屋上の鉄塔に大型のバラポラアンテナが取り付けられ電気科のシンボルとして目立っています。また後者は光通信の基礎である、電気信号から光信号への交換やその逆変換などの実験をする装置です。これらの導入に

よって電気科の実習内容もかなり変化していくこととなります。電気科ではご存知のように2年生で第二種電気工事士試験を全員受験するという指導をしています。昨年は2年生で25人、3年生で31人が合格しました。今年も昨年以上の成績を上げるよう生徒・職員共に頑張っています。また例年卒業生が数人、技能試験の受験を前に母校へ練習に來ていますが人数にゆとりのある時は、技能練習を引き受けていますので希望の方は事前に問い合わせ下さい。さて、一昨年、電気科同窓会「紫電会」が卒業生諸兄のご協力により発足し、昨年の総会(白水

部は六連勝、一学年、二学年、も夫々優勝、四つの優勝を獲得出来之も先輩諸兄が残された立派な成果を続ける模範となった生徒達の努力と先輩方の声援のお蔭と存じます。

本年も間もなく就職指導が始まりますが、これに關した実力テストや面接模擬練習、卒業生を囲む会等の予定があります。先輩方におかれましてもよろしくご支援ご協力頂きますようお願い致します。

旧 職 員 消 息

西出 宗生先生 (D 昭10年〜47年在職) 本年三月をもって、大阪樟蔭女子大学被服科教授をご退職されました。引き続き同大学名誉教授として、教壇に立たれることもあるとのことですが、染色美術工芸作家として一層のご活躍の場が広がることと存じます。

各種建築家具金物製造卸 株式会社 浜 国 本社 TEL (06) 746-1921 (代) FAX (06) 746-7878 札幌営業所 TEL (011) 872-2772 FAX (011) 872-2749

テンションコントローラーシステム エイコー測器株式会社 代表取締役 中川俊和 (M26卒) 本社 大阪市西区南堀江1-18-27 TEL (06) 533-1801 松本工場・東京営業所

上下水処理機械 設計・製作・施工 間機設工業株式会社 間 文彦 (M37卒) TEL (06) 471-5767 FAX (06) 471-5311

# 平成元年度卒業生の進路

## 先輩の活躍に支えられて

会員の皆様には益々お元気で活躍のことと存じます。平素は母校のため、何かとご尽力を賜わり厚くお礼申し上げます。

本年も三二七名の生徒が本校を巣立って行きました。

さて、平成元年度卒業生の進路状況は別表の通りです。

就職については、前年度に引き続き好景気により、生徒たちにとっては大変恵まれた年となりました。求人会社数は前年度の一・三倍（一三四八社）となり、求人数、求人数共に大幅に増加しました。9月16日より開始された就職試験では、9月末で学校紹介希望者の84%が、10月末には98%の生徒が内定しました。さらに二次受験者も、進学・公務員希望から学校紹介に変更した者も受験のチャンスには大変恵まれました。

新学期当初より生徒たちの取り組みも活発で、5月頃から、昼休み、放課後等を利用して前年度の求人票・資料の閲覧、就職相談もあり、求人会社を研究する姿が多く見受けられました。また、自習時間等を利用してクラス全体での閲覧も行われていました。その結

果、例年通りの7月下旬、8月下旬と2回のクラス別求人票の閲覧により、受験先の決定もかなりスムーズに進んだようです。

進学状況については、希望者が増えて来ており、近畿大学理工学部1名、大阪芸術大学に1名、奈良佐保女学院短期大学に1名、大阪総合高等職業訓練校（港灣分校）に1名、専修学校に13名進学しました。

今年度も好景気が予想されますが、生徒共々より一層の努力を続けていきたいと思います。今後共、諸先輩方のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

計	その他	家事	学校等	専修	大 学	就 職	性 別
290	18	13	2	257	男		
37	2	1	1	33	女		
327	20	14	3	290	計		

### ◆繊維工業科

奈良佐保女学院短大 東 理香  
住金大阪ブランド 岩田 勝次  
トヨタカラー南海植田 清伸  
日本ゴルフ興業 上田真佐実  
日本メリヤス 上野 則彦  
鶴谷谷順天館 大塚 緑  
トリアススポーツマシン 岡田 光宏

田崎真珠 藤門 聖章  
自営（スポーツ用品販売）  
就職希望  
田崎真珠 山田 陽子  
住江織物 山本 広一  
凸版大阪プロセス 油野 奈美

松尾織維工業 西村 栄仁  
松尾捺染 葉山恵美子  
ワシントン州立エドモンス大学 増田 孝  
本校 水野 正人  
御明成商会 三好さゆり  
大阪芸術大学 山田 陽子  
松尾捺染 山本 広一  
サンスター技研 油野 奈美  
カネボウ化粧品大阪第一北販売 明石 知子  
藤原電機 伊藤 勇二  
ユニオンケミカル 内 幸江  
松尾捺染 内川みな子  
◆黨業科 内田 宏美  
吉川工業 越智 久通  
トリアススポーツマシン 魚山 芳枝  
明星工業 川中香奈子  
明星工業 河西 正樹  
川ダイカン 川端 克美  
辻調理師専門学校 藏澤 香  
御内外 坂本佳世子  
御大阪ゆいらく 子浦 仁美  
御ナガイコトブキ 島田 勇  
毎日新聞 住吉神社店 庄野かおり  
砂坂 広明  
大阪セメント 住友 真理  
泉陽光学 土井 厚志  
幸大硝子 中野 雅司  
日本フリット 中村 由美  
関西テレビ専門学校 西庄 政雄  
サンコー 西谷 知也  
家事手伝い 阪神電線 西原 佳織  
御セイコーレンズ 菅 良平

### ◆色染工業科

中谷運輸 加藤 九  
都ニッポン 梶 信明  
ベリーリಂಗーハイム東宝 神村 恵  
大阪トラベルジャーナル専門学校 久次米明美  
長崎塗装大阪支社 工藤美佐香  
健栄製菓 古賀佐和子  
小竹真矢子 佐藤 政弘  
茂田佐由理 センカ 彩交  
柴田 英樹  
城間 進  
鈴木 英子  
竹下美千子 谷西 千佳  
知名 輝昌  
中川 義己  
中村 里子  
西崎恵美子 西崎 真一  
野崎 真一  
野崎 善史

南海道流通開発 田辺化学工業  
セツナン化成 日本化学製品  
藤原運輸 松尾捺染  
松尾捺染 松尾捺染  
日華化学大阪支店 川中香奈子  
東洋紙業 日精化学工業  
センカ 彩交  
テイカ 島田 勇  
日本化学製品 信用組合大阪興銀  
御フジキン 倉敷紡績枚方工場  
松浦 大阪トヨベツト  
東洋製織硝子工場 中村 由美  
大阪デザイン専門学校 西庄 政雄  
住友金属工業製鋼所 西谷 知也  
御明成商会 阪神電線

菅 良平  
末永 淳二  
白根 孝史  
四宮 高志  
佐川 泰男  
小寺 徹  
合田 英樹  
桂 貴明  
柏木日出男  
甲斐 保  
池内 兎  
内田 幸幸  
大菊 信義  
岡田 健  
岡野 仁  
荻生 悦男  
小倉 隆

### ◆電気工事

自営（電気工事）  
住金大阪ブランド 城間 進  
鈴木 英子  
竹下美千子 谷西 千佳  
知名 輝昌  
中川 義己  
中村 里子  
西崎恵美子 西崎 真一  
野崎 真一  
野崎 善史

大阪トラベルジャーナル専門学校 久次米明美  
長崎塗装大阪支社 工藤美佐香  
健栄製菓 古賀佐和子  
小竹真矢子 佐藤 政弘  
茂田佐由理 センカ 彩交  
柴田 英樹  
城間 進  
鈴木 英子  
竹下美千子 谷西 千佳  
知名 輝昌  
中川 義己  
中村 里子  
西崎恵美子 西崎 真一  
野崎 真一  
野崎 善史

菅 良平  
末永 淳二  
白根 孝史  
四宮 高志  
佐川 泰男  
小寺 徹  
合田 英樹  
桂 貴明  
柏木日出男  
甲斐 保  
池内 兎  
内田 幸幸  
大菊 信義  
岡田 健  
岡野 仁  
荻生 悦男  
小倉 隆

### ◆その他

御岡本染料店  
御日本紡績検査協会  
アトラス情報 谷西 千佳  
住江織物 中川 義己  
御フジキン 中村 里子  
福山通運 西崎恵美子  
住金機械加工 野崎 真一  
ゴダージェム 野崎 善史  
大阪京装コンピュータ 樋口 浩之  
日本油脂 福原 香

御岡本染料店  
御日本紡績検査協会  
アトラス情報 谷西 千佳  
住江織物 中川 義己  
御フジキン 中村 里子  
福山通運 西崎恵美子  
住金機械加工 野崎 真一  
ゴダージェム 野崎 善史  
大阪京装コンピュータ 樋口 浩之  
日本油脂 福原 香

菅 良平  
末永 淳二  
白根 孝史  
四宮 高志  
佐川 泰男  
小寺 徹  
合田 英樹  
桂 貴明  
柏木日出男  
甲斐 保  
池内 兎  
内田 幸幸  
大菊 信義  
岡田 健  
岡野 仁  
荻生 悦男  
小倉 隆

アサヒ衛陶 <sup>株</sup>	高橋 伸行	日産ディーゼル <sup>株</sup>	川阪 智道	大金製作所	鶴飼 裕文	神ダイヘン	三好 賢裕
大阪窯業 <sup>株</sup>	武市 富男	田中服装 <sup>株</sup>	川島 伸二	大阪機工 <sup>株</sup>	岡村 洋行	浪速製作所	室 也寸志
日調 辻調理師専門学校	谷 宗明	マリノフード <sup>株</sup>	北山 弘二	ナビオ・コンピュータ <sup>株</sup>	金城 行洋	トヨーサッシ <sup>株</sup>	盛田 勝巳
十條製紙 <sup>株</sup>	土屋 智昭	牛乳石鹼共進社 <sup>株</sup>	児玉 龍二	住金機械加工 <sup>株</sup>	神谷 博光	菱山製菓 <sup>株</sup>	森本 慶樹
大ト <sup>株</sup>	仲里 賢次	大阪鋼板 <sup>株</sup>	清水 康雄	田岡化学工業 <sup>株</sup>	鳴川 太一	トランス・コスモス <sup>株</sup>	吉川 直樹
日本無機 <sup>株</sup>	信木 明夫	植田製油 <sup>株</sup>	関谷 則仁	昌栄印刷 <sup>株</sup>	掃部 純正	京阪電鉄 <sup>株</sup>	米谷 英明
大洋コンクリート本社 <sup>株</sup>	堀江 利昌	日本化学工業 <sup>株</sup>	朝日コンピュータスクール	大阪工業技術専門学校	黒石 学	三田技術コンサルタンツ <sup>株</sup>	阿部 哲也
ニューテック <sup>株</sup>	正木 強	山村硝子 <sup>株</sup>	平 勉	大阪製錬所	琴川 一成	東洋保全工業 <sup>株</sup>	天野 稔之
トヨクニ <sup>株</sup>	松井 清友	古河機械金属 <sup>株</sup>	和光純薬工業 <sup>株</sup>	マリンフード <sup>株</sup>	金 誠一	西濃運輸 <sup>株</sup>	有田 浩一
山村硝子 <sup>株</sup>	宮崎 学	リコー <sup>株</sup>	倉敷紡績 <sup>株</sup>	明星建工 <sup>株</sup>	佐伯 貴士	中の島美術学院	伊藤 貴博
ダイヤモンド魔法瓶 <sup>株</sup>	宗政 和明	藤川工務店	ダイソー <sup>株</sup>	オカダ・アイヨン <sup>株</sup>	塩屋 正行	西口印刷 <sup>株</sup>	井上 好雅
日本増場 <sup>株</sup>	森上 英勝	日本運送 <sup>株</sup>	永田 充弘	ベル食品工業 <sup>株</sup>	島田 孝明	ダイエー <sup>株</sup>	瓜田 正法
東阪電子工業 <sup>株</sup>	森田 猛	十條製紙 <sup>株</sup>	西村 幸子	日本化学機械 <sup>株</sup>	高見 修二	近畿日本鉄道 <sup>株</sup>	大江 則義
佛ハーマン	山口 崇	日本ペイント <sup>株</sup>	濱田 勝彦	サンセイアルミ <sup>株</sup>	高屋 俊治	ミツイアート	岡部 忠彦
東洋ガラス <sup>株</sup>	山田 高之	塩野義製薬 <sup>株</sup>	松波 正樹	御野木	田原 邦彦	御初田製作所	岡村 匠洋
兵庫科学技術専門学校寄川	孝一	田崎真珠 <sup>株</sup>	長谷川鉄工 <sup>株</sup>	富士電気システック <sup>株</sup>	直樹	大阪府立松原高等職業技術訓練校	上村 正行
◆工業化学科		山本 稔	日本化学機械 <sup>株</sup>	東海 昇	徳田 隆志	自営	亀本 勝
ヒグチ産業 <sup>株</sup>	秋山 典雄	日研 <sup>株</sup>	宮下 修	戸花 健一	石花 健一	日本化学機械製造 <sup>株</sup>	金城 順治
フジケミカル <sup>株</sup>	有村 幸男	塩野義製薬 <sup>株</sup>	桃原 由崇	辻調理技術専門学校	永江 輝行	御栗本鐵工所	小和田鉄也
進学(職業訓練校)	安藤 謙司	太田塗装工業	サンライズ・エンジニアリング <sup>株</sup>	関西電気工業 <sup>株</sup>	西岡 義和	ユーション <sup>株</sup>	七宮 敏
大鹿振興 <sup>株</sup>	今田 昌良	内外インキ製造 <sup>株</sup>	八幡 歩	御淀川製鋼所	橋本 章弘	近畿車輛 <sup>株</sup>	白井 宏三
川上塗料 <sup>株</sup>	大窪 広昭	オリエンタル酵母工業 <sup>株</sup>	山形 剛	三栄電気工業 <sup>株</sup>	初元 敦司	凸版大阪プロセス <sup>株</sup>	白根 慎二
ヤマト運輸 <sup>株</sup>	岡本 一哉	岡村 欽司	新田セラチン <sup>株</sup>	東洋保全工業 <sup>株</sup>	濱崎 純治	川崎設備工業 <sup>株</sup>	菅原 利晃
近畿輸送 <sup>株</sup>	川口 尊博	奥野製薬工業 <sup>株</sup>	山崎 功造	東芝昇降機 <sup>株</sup>	林 剛	ニレコ <sup>株</sup>	杉田 和宏
大興電子 <sup>株</sup>	河野 武	近畿輸送倉庫 <sup>株</sup>	山本 周一	住友金属工業 <sup>株</sup>	藤田 秋	甲南電機 <sup>株</sup>	田口 禎暢
東洋ゴム <sup>株</sup>	北井 友樹	青木油脂工業 <sup>株</sup>	横山 智之	住友金属工業 <sup>株</sup>	藤原 孝樹	大阪チタニウム製造 <sup>株</sup>	渡海 省治
不二塾学 <sup>株</sup>	京極 旨令	シャープ <sup>株</sup> I C 事業本部	日本オーチス・エレベータ <sup>株</sup>	墨水交易 <sup>株</sup>	古川 貴章	トヨタカラー南海 <sup>株</sup>	内藤 裕康
カネボウ化成 <sup>株</sup>	重増 孝行	佛越橋板金工作所	阿部 弘文	よしみね <sup>株</sup>	牧田 孝幸	長尾建設 <sup>株</sup>	長尾 太
進学希望	清水 浩	大阪市立泉尾工業高校	今村 博	大創プロセス <sup>株</sup>	水野 保大	リコーエンジニアリング <sup>株</sup>	西口 正洋
日光化成 <sup>株</sup>	城谷 清二	川岸 光		佛笹倉機械製作所	宮里 純一		
神東塗料 <sup>株</sup>	十川 奉巳						



# 文化部の活動

全国高校総合文化祭に出品

美術部主将 中村智幸君(機械科三年2組)が、第14回全国高等学校総合文化祭山梨大会の美術・工芸部門絵画に、大阪代表六人の一人に選ばれました。

作品は、現地の写生を版画(リトグラフ)にした風景画「月ヶ瀬の梅」で、八月一日〜五日に甲府市の山梨県立美術館で展示されます。また、二日に行われる交流会、講評会に本人が参加します。



## 写真部

昨年度の写真部は奈良公園での撮影会や各種の学校行事に大いに動きまわりました。文化祭および市立高校芸術祭での作品発表では初めての試みとして、カラー写真の現像を行い展示しました。初めてにしてはなかなかの出来ばえであったと部員一同喜んでいました。ただ残念なことには三年生が卒業したあと、部員がわずかとなってしまったことで、これはしつかりしないと大先輩の皆様に変な迷惑をかけることとなります。しつかり頑張ります。

## ブラバンド部

現在、3年生2名・2年生2名で細々と活動しております。部員4名では、とうていブラスの醍醐味は味わえません。ですから、アンサンブル形式で文化祭に出演出来ることを目標に練習に動んでおります。音楽を通して音楽を楽しむながら、その活動の中で努力する厳しさを学び、また自分を表現する中でもっと広く豊かで高貴な心が身につくことを願っております。

## 科学部

部員は少ないのですが、活動は他のクラブに負けず、昨年からは今年にかけて、坂本、木村両先生の指導で、淀川水系の水質調査をしました。琵琶湖から宇治川・淀川

へと調べました。またバイオ実験として、アスパラガス、胡瓜の核の寒天培養を行うなど新しい実験に取り組んでいます。初めは腐らせるなど失敗もしましたが今やっせと成長をとげる物が出て来たところです。今の悩みは部員の少ないことです。

## 美術部

美術部は本年度、ついに第14回全国高等学校総合文化祭に大阪代表6人の中の1人に、部長の中村智幸(3M2)君を送り出すことができました。文化庁、他主催、全国持ち回りのこの文化祭は、期間8月1日〜8日、山梨県で開催される。全国から、文芸文化にかかわる高校生が選抜され、海外からは、アメリカ、カナダ、中国、韓国の参加がある一大イベントである。この名誉を受けた喜びと同時に大阪代表としての重責を感じながら、中村君はリトグラフ(版画)の制作に力いっぱい取り組んでいる。

## 軽音楽部

昨年の文化祭では、社会科教室で第2ステージを行い、また体育館のステージにも出演しました。例年のように、卒業生を送る会や新入生歓迎会にも頑張っており取り組んでいます。以前に比べるとこの数年部員数が大幅に減少し、心配していまし

たが、今年初心者ばかりですが一年生がたくさん入部しました。まだまだですが、これから盛り上げていきたいと思っています。また、今年新しいキーボードが入ることになったので、これまでより幅広いサウンドが出せるようにしていくつもりです。



## 鉄道研究部

生徒の好みもあってNゲージ運転会が続きましたが、今年の文化祭はHOゲージを主体に、一部Oゲージの試作も考えています。我が鉄研の車庫で故障修理や調整を済ませて出番を待っている旧国鉄の車輛たちや、製図用紙から自作した車輛が走ります。運転操作には念願である本物のマスコンはまだ手に入りませんが、模型の運転

台形コントローラを買ってもらえることになったので、初めての試みとして見学に來られた方に運転を楽しんで頂きたいと思っています。

## 陶芸部

昨年は、二年生三人、一年生一人が入部しましたが、今年はまだ一人も入部していません。三年生が卒業すると部員が一人になるのでこまっています。しかし、まだ一学期で、このさき新入部員が入らないわけではないし、そのうえ、文化祭や芸術祭のこともあるので、あまり心配せずに気持ちを入れかえて、がんばりたいと思います。

## 映画研究部

現在、ビデオ作品を作ろうと集まった部員が多くのアイデアを出し合っており、シナリオが作製されました。6月からビデオ取りに入り、9月までに完成させたいと思っています。完成した作品は秋からあるビデオコンテストに出品し、賞取りをねらっています。卒業生の皆さんも応援よろしくお願ひします。

## 自動車部

昨年度も毎年製作している手作り自動車「省エネカー」をつくり文化祭に走らせました。例年の三輪を四輪に変え、しかも自由にカーブ出来る様にデフに変わる機構

を考えて製作しました。また、久しぶりに乗用車のエンジンの分解も始めました。専用工具も少しずつ揃えていっています。

二年生が中心となっていますのでエンジンの分解組立もさらにすすめていきたいと思います。

△ホビー部▽

本年3月に、中心的に活動してきたグループ5名が卒業しました。そこで本年は、2年生6名を中心に、4名の新入生を加え計10名の部員構成となりました。

イラストや小説づくり、テープルーツク等を、毎週水曜日と土曜日を活動日と決め、楽しく、和気あいあいの中で活動しております。

文化祭では、同人誌「RARRRY」を発行する他に、内へこまるばかりではなく、校外へと活動範囲を広げたいと考え工夫しております。

△ゲームズ部▽

同好会が発足して五年目になります。部員は十人に満たないのですが、その分お互いが仲良く自然に活動しています。年一回文化祭での展示参加が最大のイベントで毎年趣向を凝らしています。是非いらっしやうて御覧下さい。

目下の悩みは備品不足です。パソコン、ディスクドライブやディスプレイもすべて部員の持ち込みで活動しています。御不用の機器

がありましたらお譲り下さい。

△茶道部▽

おとなしい、まじめな部員ばかりで熱心に活動しています。ただクラスが、かたよっていますので部員一同、一年生の入部を強く希望しております。今年も、文化祭に、お茶席を設けられると思います。それまでに、内輪のお茶会ができればよいと思います。お知らせの生徒に入部をおすすめしたいだけだと存じます。

JRC部

夏のトレーニングセンター(本年はルーテル能勢研修センター)に全員参加し研修を深めます。毎週火曜日は「手話」の訓練もしています。



の部の活動

男子バレー部

男子バレー部は、年もたくさ

んの新人部員が入って、一生懸命に練習しています。今年度こそは3部入りを果たしたいと顧問は考えられています。何とか実現できるように支援下さい。顧問は村上・黒田先生です。

サッカー部

我々サッカー部は、今年度新しく、井上宣哉先生を顧問に迎え、毎日、はげしい練習を行っています。部員の人数も、一年生17名を加え、総人数28人となり、土曜日は、部内で試合をしています。

昨年、市立大会の三位決定戦で前顧問田口先生率いる東淀工高に敗れましたが、今年度は、その雪辱に燃えています。

今年度は、市立大会優勝と、全国大会四回戦出場を目標にがんばる覚悟です。

軟式野球部

軟式野球部は毎日泉尾グラウンドと校庭で練習しています。白戸、伊藤先生の他に川岸先生が顧問になっていただきがんばっています。細田先生はこの三月に退職されましたが、工業化学科で教えて居られます。春の工業大会は優勝しました。夏の合宿は七月二日から七月二四日と日時は未定ですが、八月中旬と三回に行いますので、ご来校下さい。今年こそ全国大会出場をめざしています。

硬式野球部

現在部員43名(二年18人、二年12人、三年8人、マネージャー5人)。

新チーム結成後の戦績は、20勝15敗3分です。公式戦は、昨秋の大会、PL学園、今春は、桜宮高校とそれぞれ強豪と対戦し、途中までは互角の試合をしましたが、いずれも初戦で敗退しました。

今年もいよいよ夏の選手権大会が7月14日から始まります。3年生は最後の大会となります。目標のベスト8を目指して日夜練習に励んでおります。OBの皆様御支援よろしくお願ひ申し上げます。

陸上部

本年も各個人の記録は、順調に伸びておりますが、残念ながらインターハイには出場できませんでした。しかし二・三年生が、例年以上によくまとまり、熱のはいった練習をしております。幸い一年生も多く、一・二年大会や市立大会で、成果が発揮できると思えます。

- 7月25・26日(万博) 1・2年地区大会
- 8月22・24日(長居) 高校総体
- 10月7日(長居) 市立大会
- 10月27・28日(万博) 地区別秋季大会

レスリング部

昨年は、初の全国大会に1名

ではあります。出場し、ベスト8の成績を残すことができました。又近畿大会へは5名、新人戦でも4名が入賞し、その内3名が全国選抜近畿ブロック予選に出場し、今年度へ向けての準備ができてあるものと思われました。

そして今年度も6名の新人部員を迎え、総勢16名で練習に励んでいます。特に軽量級の層が厚く、充実しているので、中・重量級の頑張りも期待したいところです。

尚今年度も昨年に引き続き、各種大会への出場をめざし頑張りますので、先輩方の御指導よろしくお願ひ致します。

アメリカンフットボール部

現在部員が少なく、4名しかおりませんが、基礎体力をつけようと、ウェイトトレーニング等を中心に行なっております。是非ご支援下さい。

水泳部

昨年度は、市立大会団体3位、個人優勝、高校対抗・新人戦ともに、好成績をおさめることができました。

現在部員数は9名(3年3名、1年5名、マネージャー1名)少人数ではありますが、1人1人目標を持って頑張りしております。本年度の大会日程は、高校対抗8月4日〜6日、市立大会8月24日、新人戦9月15日〜16日、すべ

て大阪プールで行われます。今後も、ご声援、ご支援をお願いいたします。

卓球部

昨年度の戦績として、市立大会新人戦において、シングルス・ダブルス・団体戦とも準優勝となりました。徐々ではあります、試合の内容が良くなってきております。2年生が5名おりますので、今年度は昨年度以上の試合内容になると信じております。しかし、1年生がいないので頭を痛めております。

尚、恒例の夏季合宿の日程は、7月下旬を予定しています。ご多忙とは思いますが、指導よろしくお願い致します。

ラグビー部

卒業生が、いそがしい仕事の合間に来てくれて、現役の練習を見たり、四方山話をしたりする。公式戦や合宿には必ず数人駆け付けてくれる。ラグビーが取り持つ縁である。

去年、大切な仲間を一人交通事故で亡くした。同級生や恩を受けた後輩のOB達が集い、悲しみに暮れた。同じ釜の飯を食い、喜怒哀楽を共にしたラグビーの絆は深い。ラグビーは人生の縮図である。

テニス部

念願の専用コート(第2グラ

ド)が大正高校北(り)にでき、市立高校の中では一番恵まれた環境のもとで活動しています。

バスケットボール部

昨年度は市立大会では個人、団体とも優勝、府下の夏の大会ではキャプテンがシングルスでベスト32まで入り、まずまずの成績でした。今年もこれから夏の合宿(7月下旬から8月上旬の予定)を中心として考えた練習をして、昨年度以上の成績を残すつもりです。

バトミントン部

昨年度は、3年生が1人だけだったため、公式戦は、残念ながら全て一回戦で敗退しました。その分本年度に期待して練習を重ねてきましたが、主将と副主将が、腰と膝を故障し春の大会は南高校に75-40で敗れました。本年度は新入部員も8名入部し、総勢17名の世帯になり建て直しをはかっており、市立大会での上位入賞を目標として頑張っています。最後にになりましたが、春休みに象印マホービンの先輩諸氏と試合ができる機会を与えて下さったことに深く感謝しております。

柔道部

昨年度は、団体で府下ベスト16、個人でベスト8とどまりでしたが、強化選手のAクラスに4名、Bクラスに3名選ばれました。その中でも袖山亮司、内田恵の両君は大坂ジュニアチームの一員として3

月27日~31日の韓国選征に参加し活躍しました。市立大会では、団体・個人とも優勝でき喜んでおります。

ボウリング

創部五年目の年、そろそろ大きなタイトルが欲しいと思っ今日この頃です。今まで大阪府知事杯をはじめ数多くの大会で好成績を上げてきましたが、今一つ学校内では浸透していません。本年度は有望新人も数多く入部し活気が出てきました。来年度にも団体選手が生まれそうです。OBのみならず、期待して御待ちください。御声援よろしく!!

野外活動部

昨年度の市立大会において優秀賞を獲得しました。これは技量優秀という以上に、他校より部員数が多く(16名)活動していることによるものでした。本年は一年生の入部2名と少ないのですが、質の充実をはかりたいと考えております。

剣道部

昨年度、市立大会で優勝し、活発な活動をしていましたが、前年度の3年生が卒業し、今年度の3年生はマネージャーのみで、2年生が主体となってクラブを運営している状況です。しかし、新入生が4人すでに入部し、そのうち2人が剣道経験者ということで、今後の期待が大きく持てるようになりました。

女子ソフトボール同好会

今年三月に発足したばかりの新しい同好会、現在の部員数は10名です。道具もまだ揃わず、練習場所さがしに苦労する毎日ですが、一勝をめざして練習に励んでいます。

レスリング部インターハイ出場

レスリング部主将志野元信君(工業化学科三年2組)は、八月一日から宮城県名取市にて開催されます全国高等学校総合体育大会(インターハイ)に出場することになりました。インターハイ予選では50kg級で優勝しており、新人戦団体一次予選50kg級優勝、春季大会54kg級二位の成績を残しております。



レスリング部インターハイ出場

中学時代は野球に専念しておりましたが腰を痛め、本校入学後はレスリング部に入部し、休むことなくコツコツと努力して力をつけてきておりました。最近では腰痛も克服し、15名の部員をよくまとめ練習にはげんでおります。

尚、インターハイには昨年

もレスリング部より富吉元徳君(工業化学科三年)が出場しました。

# 泉工三十九年勤務

増 成 徹 郎



退職のごあいさつ

白水会員の皆様には益々ご健  
でご活躍のこととお慶び申し上げ  
ます。

さて私は平成二年三月末日をも  
ちまして泉尾工業高等学校を定年  
退職いたしました。昭和二十六年

に泉工にまいりまして今日まで三  
十九年の間繊維工業科でお世話に  
なりました。

又その間クラブ活動では自動車  
部と女子バレー部の初代顧問とし  
て、十年づつ計二十年間勤めさせ  
て頂きました。従いまして繊維工  
業科をご卒業の皆様方ももちろん  
ですが、全ての科の皆さんと広く  
接しさせて頂きました。

お陰で今日まで多くの卒業生の  
方々と色々な形でお付き合いさせて  
いただいております。いろいろな

## 皆さん、本当にありがとう

川 島 稔 夫

発令ということになった。

「何たることだ」とあはらしく  
なり「こんな学校に永居は無用」  
と思いきわめ、毎日「やめよう。  
やめよう」と思いつづけて半年た  
った。

そんな思いでスタートした学校  
なのに、三十一年も勤務して、定  
年を迎えることになったのは誠に  
不思議という他はない。

「なぜだろう」とこの理由を考  
えてみると、その一つは泉工の生  
徒がとても人なつこかつたこ

泉尾工高へ私が赴任したのは、  
昭和三十四年四月だった。意気込  
んで転動してきてみると、校内人  
事のごたごたから「四月は奉仕と  
いうことになってくれたまえ、川島  
君」と校長よりつけられ、授業は  
週十九時間、給料なし、五月より

業界でご活躍の卒業生の方々のお  
話をお聞きする度に、常々泉尾工

業高校のすばらしさには感心をい  
たしておりますが、今度の退職  
に望んで今更ながらこのように立  
派な学校に長年勤めさせていただ  
いたことに感謝をすると共に、誇  
りに思っております。

退職後は大阪の地を離れまし  
たが、全国でご活躍の会員の皆様  
と又こちらでもお逢い出来ること  
と期待しております。

最後に会員の皆様のご健康とご  
多幸をお祈りすると共に白水会と  
母校の益々のご発展を念願して止  
みません。

(笠岡市篠坂一三四六)

と。これで生徒が好きになった。

三十一年も勤務すれば、時代と  
共に生徒の気質も相当に変わる。そ  
れでもこの「人なつこさ」は変  
らなかつた。先生と親しみ、叱ら  
れてもけろりとして、サラサラと  
前進するところ、さすが泉工だと  
感嘆するばかり。

二つめは、先生や保護者の方々の  
情のあたたかさ。みんないい人  
だった。PTAの係をしたのはも  
う二十年以上も前になるが、忘れ  
ていないはずの年月が経つのに、今  
もあの頃の方々に大声で呼びかけ  
たい気持ち。

このために、転勤の機会を何度

か見送ることになってしまった。

昭和四十年、学校へ「カウンス  
リング」が入ってきた。「川島さ  
ん、やってみなさい」といわれた  
のは教頭さん。後の高橋正一校長  
である。

「カウンセリングを基礎とし  
て、生徒指導をさらに深める相談  
活動を」というのがキャッチフ  
レーズ。「こりやーなかなかいい  
じゃないか」と飛びついた。以来  
二十五年、いつまでたっても上達  
せず、今もなおこれで苦勞してい  
る。

大阪の高校中退者は年間約一万  
人、公立学校一校当りの退学者数  
は全国一。「こんなことでいいの  
か」と在職中何度も思い悩み、生  
意気に議論してきた。

退職してからも、登校拒否や子  
どもの教育に悩む保護者の方々に  
少しでもお役に立てばと、心をひ  
きしめ努力している今日この頃。

ふりかえると、今ある私の心は  
泉尾工高が育ててくれた。泉尾工  
高がお母さん。とてもあたたかい  
学校だった。

卒業生・先生方・保護者の皆さ  
ん。永い間お世話になり、本当に  
ありがとうございます。

(現在、大阪市教育センター  
相談室勤務)

プラスチック着色の明日を担う.....SEIWA

有限会社 誠 和 鉄 工 所

代表取締役 矢 島 健 二 (S29卒)

合成樹脂押出成型  
諸機械製作販売

本社工場 ☎574 大東市大東町8-60 TEL (0720) 75-1345  
FAX (0720) 75-4064  
第一工場 ☎574 大東市新田西町4-3 TEL (0720) 70-3369

# 大正・泉工・我が一期一会

椎 名 隆 二

白水会の会員の皆様、お元氣にご活躍のことと思います。私はこの四月に、牛野第二工業高等学校に転動しました。泉工在任中は公私にわたり、いろいろとお世話になりました。紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

赴任当時は大正区どころか泉工の各科課の職員室がどこにあるのかさえ分からず、加えて田舎育ちの私には都会の生徒の氣質とか習慣が理解出来ず、少なからず戸惑いました。しかし、その戸惑いや不安もいつの頃からか次第になくなり、気が付いたら十五年が過ぎていた、というのが現在の正直な気持ちです。

二回目の担任をしたときですが、もう六、七年前になります。新千歳の渡船場の近くで文化祭出展のために生徒とビデオ撮影をしたことがあります。そのとき大正内港に停泊している船や足元に落ちている錆びた釘や朽かかけた木材の破片を見ていたら、急に田舎の風景が鮮やかに浮かんできました。小さいときに遊んだドックにあげられたペンキの剥げた船や、それを海から引き上げるための赤錆びたロープ、そして、それを力

強く引つ張っているチェーンブローンという聞き慣れない物、悲しい原動機の音。生まれ育った天草の、というよりこの私の頭の中のひとつの情景が目の前に展開されました。以来、大正のお世辞にもきれいなといえない海が好きになりました。

泉工では、青春、朱夏と人生のうちで、最も貴重な時期を過ごさせてもらったと思っています。この十五年間は、私自身に生徒を教えることは、糸を紡ぐように、染めるように地味で、土をこね、目指す色を出すために薬剤を捜し、塗り、最適温度の焔で焼く壺みたいに、繊細で根氣のいることだ、ということを示してくれました。

六科の存在そのものが、私自身の教育の場だったように思います。先日、学校を訪ねたとき、普段は急ぎ足で通り過ぎる泉尾商店街をゆっくり歩いてみました。目に入るものすべてに自然に愛着がわき、今になって初めて大正区のれつきとした住人になった気がしました。そして、私の傍らを過ぎてゆく人と思わず挨拶をした衝動にかられました。学校に近づくにつれ、その思いが胸にじわじわと

込み上げてきて、その処置に困りました。「先生、ひさしぶりやなあ。今日はどうしたん」ふと、我に帰ったそんな声が聞こえてきました。たった二か月しかたっていないのに、随分泉工を留守にしたみたいなきががしました。

## 『第五の母校として』

近 藤 太 一

山田洋介氏は「フーテンの寅さん」のラストシーンには必ず日本各地の晴れたらった青空を撮るそうです。寅さんに雨は似合いません。人情味溢れる大正にも、泉工にも同じことが言えます。今度から私も、泉工を訪れるときは、晴れた日だけにしようと考えています。

私は、母校と呼べる学校が四つあります。小学校・中学校・高校・大学です。そして、第五番目の母校として「泉尾工業高校」がある、と言っても決して過言ではないという気がします。

昭和五十二年四月に、大学卒と同時に赴任。以来十三年間にわたって勤めさせていただきました。この十三年は、今思えばほんの短い期間だったようですが、今年卒業した三年生が、また小学校に入学する前に、私が赴任してきたということを考えてみますと、結構長い期間だという気がします。

「泉尾工業で教えたなら、どこへ行っても通用する」という言葉を、赴任して間なしの頃に、先輩の先生からよく聞かされましたが、今年、扇町高校へ転動になった、やっとその言葉の意味を知る

ことができたとように思います。それは、生徒指導の困難さ(赴任一・二年間は確かにそれは深刻でしたが)ということ以上に、泉尾工業は、実にさまざまな経験をさせてくれる学校だということだと思います。例えば、校務分掌において、希望すればいろいろな仕事をさせてもらえ、また、多くの方々に教えてもいただける。今流行のOA機器にしても、その気にさえなれば、何でもさせてもらえる。そういう学校環境でもあり、そういう雰囲気も持っているのが泉尾工業であったと思います。

従って、泉尾工業で経験させていただいたことは、今すぐではなくても、近い将来きっと役立つところがあるに違いないという気がします。扇町高校へ転動して二か月。環

境順応性には自信を持っていた私ですが、さすがに最初の二・三週間は、余りの環境の違いに、精神的にだいぶまいりました。今でもまだ、しつくりと来ない部分は多いのですが、半分開き直った気分です。毎日を送っています。折にふれ、「泉尾だったらこんなのに」とか「泉尾だったらこんなふうにするのに」などと思うことも多く、まだまだ泉尾氣質は抜けていない自分にふと気づくことがあります。そんな時、やはり自分の仕事の上での母校というのは、泉尾工業だったんだなと、しみじみと感じる次第です。

泉尾工業で担任したのは三年間だけで、担任として卒業生を送り出したのは一回きりですが、その卒業生達とも、意味は違ってもこれで同じ同窓生という感じにさえなります。もう彼らも二十代の半ばになっていますが、何度となく同窓会を開いてくれます。

また、今度同窓会で会う時には、担任と卒業生ではなく、同窓生同士ということで話ができるのではないかと楽しみにしております。

仕事の面ではいろいろ教えていただいた、第五の母校、泉尾工業高校に深く感謝すると共に、今後の益々の御発展をお祈りして、転任のご挨拶とさせていただきます。

職場の白水会 ③

株式会社  
クボタ



竹村 森 橋本 筒井 高田 齊藤 平井 仲石

我々新生、株式会社クボタで頑張っています。去る2月23日、泉工出身のクボタマンの親睦会を大阪梅田の酒坊日本盛で行いました。現在クボタには15名余の方が在職しています。今回の出席者は30卒の橋本隆治氏を始め31卒齊藤哲夫氏、高田和明氏、筒井信次郎氏、森一純氏、32卒平井勲氏、37卒仲石正雄氏、そして32卒竹村の8名でした。久方振りの集りで数々の話題が飛びだ

し、時間延長で閉店まじかまで盛り上がり楽しい親睦の宴で終止しました。  
今回は仲石氏の幹事で11月頃に行う予定です。出席者以外は30卒橋本正弘氏、32卒松本暢之氏、32卒福永才三氏、36卒野路未好氏、37卒馬場秀侃氏、46卒鎌田泰貴氏、坂東満氏、大東一氏、等です。  
我々クボタでは住宅機材部門で橋本(隆)氏、筒井氏、坂本氏、パイプ部門では高田氏、森氏、松本氏、鎌田氏(竹村)、又枚方製造所では齊藤氏、野路氏、馬場氏、恩加島工場では仲石氏、大東氏、内燃機器部門では松本氏、素形材部門では平井氏、大阪本社、エンジニアリング部では福井氏、以上

それぞれが、技術、営業、製造等の部門で活躍しています。

白水会の皆さんクボタでお役に立てることがございましたらいつでも御用命下さい。

連絡先 株式会社クボタ

下水パイプ部 竹村

TEL 06-648-2330

『よんなな会』

今回の白水会々員名簿発行のための電話調査の際、「一度同窓会をやろう」と言う声が多くあり、昨年母校文化祭開催日の11月12日に養老乃滝大正店で18年ぶりに、昭和47年電気科卒業生の同窓会を開催しました。

昨年、都島工業高校へご転任された恩師、中坪先生をむかえ、卒業生13名の出席で盛大な会合となりました。

太った人、細せた人、白髪めだった人、うすい人、同年と思われない人等、18年のブランクを感じ、はじめはとまどいもありましたが、すぐに学校生活時代にもどり、打ちとけ互いに語り、楽しい雰囲気となりました。

自己紹介では、職場、家庭での皆さんの活やくぶりを披露され、中坪先生もたいへん喜んで下さいました。

予定時間をはるかにオーバーし、最後に応援コール付きの校歌

を全員で歌い、次回の再会を誓い閉会しました。

今回の同窓会をきっかけとして、今後私達が歩んでいく人生の原点、再出発となれば幸いです。今年もより盛大な同窓会の開催を計画しています。

(E47 幹事 松井芳春)



名古屋女子短期大学

D40 森下 良三

私が、ここ名古屋に移ってきてから10年が過ぎました。東・西・南・北、移動が絶え間がなかったのですが、今は千種区の萱場という所で、大学より歩いて三分、バス停より二分、「不精者にとっては願ってもない所にいる。」といつもみんな笑われながら、画家

水産物卸売業

株式会社 大勝水産

専務取締役 田中豊三 (S38卒)

〒553 大阪市福島区玉川3丁目5番18号  
TEL (06) 445-2571  
FAX (06) 445-7848

建築・装飾金物設計製造販売  
ホクデン工業株式会社

代表取締役 北田 昌由樹 (M34卒)  
山上 アキラ (M36卒)  
池内 佳正 (M61卒)

工場/大阪市西淀川区大野3丁目5番14号  
電話 06(475)5050 FAX 06(471)8363  
本社/大阪市西淀川区大和田5丁目2番19号

として、大学の教員として頑張っています。

絵の方は、アメリカ抽象表現主義絵画を通じて西洋思想・文化等を研究し、日本独自の思想・文化等と比較しながら私の世界を求めて平面の画面と闘っています。昨年一月から六月までコーネル大学にて客員教員として研究する機会が得られ、講演・制作・発表等を通じ、私の作品の再確認が出来ました。それらの結果は来年メアリのカンス・シティの画廊にて発表します。



17年前に、バンクーバー空港に一人着いた時は英語も喋れず、カナダ柔道連盟会長のジム小島氏が空港に出迎えてくれました。到着五日後に市の許可もあり、道場をスタートさせました。道場のステブストン武道館は柔道・剣道場があり設備は北米一のものです。

現在、国際審判員として今年2月シドニー、4月ニューヨーク、ラスベガス、7月西ドイツ、10月メキシコ等の国際的な試合の審判と指導が予定され、何かと忙しく、充実した日々を過ごしています。

表でできることにな( )ます。また、日本においては、今年九月に東京・銀座にて企画展が開催される予定です。

大学は名古屋市立女子短期大学。被服科で意匠学を担当しています。いつも活気に満ちあふれた十九・二〇歳の女性に圧倒されるが、教育の難しさを痛感している日々です。

今はテニス・ラケットを小脇に抱え、燦々とふりをそぐ太陽のもとで、真っ黒い笑顔をしているのが健康なのだと言いつつながら、今日も頑張っています。

空手の指導を通して世界の色々なと国際的な相互理解にも貢献していると言っています。日本には一年に一度、帰国できる程度ですが泉工時代の担任、谷口先生を囲んで、クラスの仲間と酒を飲むのを楽しみにしています。

今年も帰国の際に谷口先生と会いする予定です。

世界空手道連合 公認国際審判員

M41 打揚 猛嗣



打揚氏の夫人・佳代子さんも元全日本ナショナルメンバーで第4回アジア・太平洋大会のシルバードリフト。また打揚氏は先日、カナダから初めてのパン・アメリカン空手連合の技術顧問に任命されたところです。今後の一層の活躍に期待します。(山野)

懐かしのメンコ展 (ベックマン)

M 54 高木 浩也

昭和54年化学機械科を卒業し、北区西天満高松通りの中の、老舗のそば屋に勤めて12年が過ぎました。老松通りと言いますと関西でも有名な骨董屋さんや画廊の立ち並ぶ町として知られております。自然に古い物などが目に入り、少しづつ興味を持つようになり、ある時偶然にも昭和40年代の懐かしいメンコを見つけました。それがきっかけで約8年間全国を回り、一万数千点を収集し、新聞・テレビ・ラジオなどに取り上げられるようになりました。



A 60 末田 善昭

泉工を出て5年、現在私は大同化学工業大阪工場の分析室で働いています。仕事は焼入油、加工油、潤滑油などの分析をしております。

私には会社の配慮により大阪工場の二部に通学し、本年無事卒業しました。仕事と勉学の両方はとてもつらく何度か挫折しかけてきました。そんな時泉工に行き先生と話をすると気が落ち着き、またファイトをもやし通学しました。勉強のことでたびたび学校を訪れ先生方に教えていただきました。本当にありがとうございました。このすばらしい経験を仕事に生かしたいと頑張りたいと思っております。

A17・12 橋本 博



卒直にあって「私にとって、大阪白水会」とは「のテーマに一瞬とまどいを覚えた。

大阪白水会は、大阪市立泉尾工業高校の同窓会の名称であり、私は卒業生として当然その正会員であるわけで、そのこと以上の意味も意義も格別考えて来たわけではなかったが、今このテーマでの問いかけを、泉工入学から現時点までの母校とのかかわりの総決算（少し大げさだが）の回顧の機会ととらえ、嬉しく思って筆を執ることにした。

D56 熊谷 安代

同窓会とは、別に畏った席ではなく、三年間同じ時間を過ごした事によって他人ではなくなったクラスメイトや先生の事を、ふと懐く恋しく思った時に出来る自然な集まりの様な気がします。

私のクラスでもたまに、クラスのみんなが集るような大きな同窓

私の入学当時では、異色の専修教科を持つ工業学校とて、それぞれの分野で活躍の先輩の息吹に触れる思いがして、在校時から白水会員たる誇りを抱いていた。

白水という、泉を分解した会名の命名の経緯は知らないものの、その響は心地よく親しみがもてたのである。その親しみの気持から卒業当時に道頓堀にあった「白水」という茶房を同窓の語り場としてよく利用したことなど思い起している。これも白水会への愛着の一面であろう。

戦後の学校教育制度の変遷が、少なからぬ影響があったことであろうし、校告も昔日を偲ぶ一棟もなくなったと聞く。しかし、大阪白水会が、連続と過去と未来をつないで「泉工魂」のよるべとしていつまでも活動をつづけていくことを信じてやまない。

(加美化学工業株式会社・役員)

会ではないけれど、十人ぐらいの小さな同窓会をしています。主なメンバーは決っていますが、学生の時には思いもつかない顔ぶれです。だから余計に意外な面白さがあったり何回となく続いているのだと思います。

白水会についてですが、実際のところ私は一回も参加した事がありません。なんとか、下上の人

M34 稲田 隆幸

私が泉工を卒業して、既に30年以上が経過いたしました。子供は現在、長男が香港で社会人として、次男は、アメリカ留学、夫婦二人だけの生活を送っております。

私と白水会との係わりは、東京転勤時代の昭和44年くらいからと記憶しています。それまでも、白水会東京支部の活躍は会報で知っておりました。しかし、西、東もわからない東京に転勤して売り上げを上げることだけに走り回っ

### 私と大阪白水会

っかりで入りにくい雰囲気じゃないかと思っていたのですが、参加した事のある人に聞いた話ではそうでもないみたいなので、折角の機会なので次の白水会の集まりには、何事も体験なしでは語れないので参加しようと思っています。

(奥野製薬工業株式会社勤務)



ていて参加する余裕がありませんでした。

初めて東京支部の集まりに参加させていたでいて、よい意味での先輩、後輩の意識もあまりなく集まった皆さんが、旧知のごとく和気あいあいと語り合っておられることに素直に驚きました。

それからは毎年積極的に参加し微力ながら会のお手伝いもさせていただきました。

思い起こしますに東京には、仕事抜きで友達が居ませんでした。そんなことで、この会で懐かしい学校のことや、若かったときのことが共通の話題として話し合え、私にとっては、楽しい行事の一つになっていました。

昭和55年5月大阪に帰っては10年が経ち、今では懐かしい思い出に変わっています。

大阪に帰ってからは、母校へも訪問させていただき、白水会総会、機界会には、事情の許す限り毎年出席させていただいております。また今後も、そのつもりであります。

今年、18年振りに「大阪白水会名簿」も発行されることで楽しみにしております。この名簿が完成すれば、今まで連絡の取れない方々も減少し白水会への参加者も増える事と確信しています。

ない母校です。白水会は、この様に思っている方々の唯一の集まりです。この白水会が今後益々発展していくものと信じています。

最後になりましたが、大阪、東京の白水会のお世話をしていたら、先生並びに先輩、卒業生の方々に厚くお礼を申し上げます。

(株式会社ホッカイ勤務)  
C7 藤村 嘉夫



青春時代のふる里であり、同窓の拠りどころである、と思っております。各種会合に出席して、かつての同窓とめぐり会い、語り合い、そして母校の発展を見るのが楽しみである。

しかし、総会や役員会などに出席して常々思うことは、古い世代の会員が多く、若い世代の会員が余りにも少ないのが残念でならない。

このような会合には若い会員がもっと積極的に出席され、建設的な意見をどしどしはいてもいい、と思っている。

過日、会員名簿発行委員会から

消息不明者リストの送付をうけ、再調査の依頼があった。このリストを見て、古い世代の会員より若い世代の会員の消息不明者が、余りにも多いのに驚いている次第である。

何故、こんなことになったのか。これでは完全な名簿の作成なんてとてもじゃないが、できないのではないかと心配している。かつて、戦友会の名簿作成に五年間も要したことを思い出し、発行委員のご苦労が偲ばれて、心の痛み思いをしている。

五年制時代から三年制時代の移行にともない、母校や白水会への価値観が変ってきているのではないかと、思ったりしている。こんなことを言えば、若い世代の会員の皆さんにお叱りをうけるかも知れないが、これが私の実感である。

白水会は、歴史と伝統に輝く「泉工」の基盤であり、その豊富な人材は社会にとっても大きな財産であると思っている。白水会が、これからも同窓の拠りどころとして、発展していくことを願っている。

(スタジオオマッシュ勤務)

A 46 小笠原孝男

学校を卒業してから19年、上京して15年、その間オイルショック

やドルショック、(改造と社会は大きくゆらいだ、私自身も結婚、独立、妻の出産と紆余曲折はあったものの、傍目にはそれなりの生活に見える。

いつだったか友人の一人に誘われるまま、白水会東京支部の会合に出たことがあった。卒業以来同窓会には無縁だと思っていたし、ましてや年代の違うそれも先輩ばかりとあっては、足も遠のくというもの。それでも熱心に誘われ、気乗りせぬままそれでもついていった。

よくその友と酒を飲むことがある。酔いにまかせ、杯を傾げ昔話のあれこれを、ひとつひとつ丁寧にならぐっていくと必ずそこには共通の懐懐とした、けれど心地よい安心感、安堵感に出会う。独りよがりでも無謀な、精一杯背伸びしながらも目に見えない何かを反拗すること、唯一若さを発散していた時代があり、その時代を共有したことで得る共通の認識がある。

友はなし、会社の、家庭の、そしてとりとめのない四方山話。その中でいつしか学生時代の話になると、決まって同じ話をする者がいる。必ず嫌悪感を顕にする者がいる。お互いのそれぞれの思い出が過去に消えいりそうにしようになるのを、必死に耐え共通の話題を探しあう。それが同級生であ

れ、先輩、後輩であれ昔から今も、学校も教師も存在し続け時を刻み続けている事実がある。人生には割り切れない刹那さがあるが、人生を時間で区切ることはできる。一つの区切りの中で、学生生活ほど風化しにくく、長く記憶を超越して、ふいに現れるものはない。

毎年必ず総会に出席する人、存在さえしなかった人が、年に一度顔を合わせると、卒業学科と卒業年度をまず確かめあう。そしてまたたくまにお互いの蟻りが消えうせ、話が進むにまかせると何年来の知己を得た安堵に変わる。お祭りであり、宴に制約も何もない。交わす酒が饒舌にし、年代を越えた時が蘇る。歓呼、酩酊、懐古の涼風が身体の細胞一つずつを活性化させる。

総会が終わわり、親子ほど歳の違う先輩が握手を求めながら、来年もさつと逢おうな。はい。必ず、と返事をする。それ以来、毎年出席している。

(白水会東京支部)

はじめまして

新入会員です

元年C 山田 高之  
ぼくは、今年入社したばかりで

毎日が新鮮に感じる事が多い日々が続いています。そしてぼくが、配属された部門が製造課製造組と言って名が示すとおりにはコップやウィスキービンなどを作っています。また三交替勤務ですが、夜出に慣れたらまた朝出と体を慣らすのがしんどいです。ですが、ぼくの製造組には、同じ区に住んでいる上司の方やなんとこちらも泉尾工業卒業の10年先輩の人がいてなにかと面倒を見てくれて夜勤明けなどは眠い目をこすりながらボウリングなども行ったりしています。他の部門にも泉尾工業卒業の方がたくさんいます。そして、ガラス会社に務めて高校の時に授業で聞いた事のある言葉がたたくさん出てきてもったいなく勉強しておくんだなあと思っています。

最後に、汗や油などで汚れて貰う給料はアルバイトとは一味違いうれしいです。会社の人達もいい人ばかりで楽しくがんばっています。

(東洋ガラス株式会社勤務)

元年M 牧田 孝幸

社会人になって思ったことは、高校生の時と違って上下関係が厳しいということです。

染料・顔料・工業薬品

平岡染料店

平岡利隆 (D31卒)

〒543 大阪市天王寺区国分町18-11  
TEL (06) 771-7426  
FAX (06) 779-7794

(よしみね株式会社勤務)

### 白水会 東京支部の近況

5月16日夕刻より新橋にて幹事会が開かれました。出席者は9名。

「いやあ皆さんお忙しいのに、ご苦勞さん」

「ところで先日、先輩から「今年の総会はどないなっとるねん」て急に言われても出席でけへんぞ」ゆうてえらい怒られてな」

「今年の校長会はいつ頃やろ」

「毎年5月の終わり頃やな、けど今からじゃどっちにしても間に合わんなあ」

「困ったなあ」

「それで、本部の先生から連絡があった、70周年の記念事業の一環として今名簿を作成してるそうや。そしたら東京支部の名簿に載ってない人がぎょうさんいてるぞうなんや」

「へえー」

「転勤が多いさかいやろな」

「その名簿って、いつ頃できるんや」

「コンピュータに入力し終わるのが7月の下旬頃」

「名簿ができてから総会を開くとすると、9月頃かな」

「9月、10月じゃ一寸遅すぎるんところやうか。それに8月、9月はまずい。どうしてもまずい」

「では、そういうことで本日の幹事会はお開きに」

東京にいて、そこだけが大阪のような幹事会がおわり、40回目の総会に向けて準備が進められることとなりました。

連絡先 千140 東京都品川区北品川2の25の6 玉田 敏也氏 (03-3431-1840)

「40人弱位でした」

「少ないな。今年は、支部40回目の総会やし、ぎょうさん来て欲しいもんやが、なんせ時期がいつもと違うしな。どないなるやろ」

「いっぺんアンケート取ったらどんなもんでしょ。時期とか、場所とか、会費とか」

「それで、来年から集まりやすい時に開いて、なるだけ皆に出てもらえたらええな。」

それと、6月頃に関東圏だけの名簿が本部からきたら、支部の新しい名簿もすぐできるな。今度の総会に間に合うかな」

「一寸時間的に無理でっせ。それに支部は貧乏ですから」

「総会を7月下旬に開くとして、何日にしよ。27日の金曜日でどうや」

「九段会館の方は、OKです」

「そしたら、7月27日6時からという事で。本部にもその旨伝えときます」

### 叙 勲

山下 俊彦氏 (C12)

松下電器産業㈱相談役の山下俊彦氏は、長年にわたる電気機器工業界での功績に対して、勲一等瑞宝章を本年4月29日受章されました。

おめでとうございます。

伊奈岡 芳次氏 (C7)

多年にわたる木材振興につとめられた業績が認められ、昨秋の叙勲で勲五等瑞宝章を受章されました。

おめでとうございます。

石松 正男先生 (体育、昭和22年〜23年在職)

教育振興につとめられた業績により、昨秋の叙勲で勲五等瑞宝章を受章されました。

おめでとうございます。

### 白水剣友会

昨年は、大阪府下優勝大会において、一昨年に続き、二年連続(史上初)優勝をいたしました。

メンバーは山口孝好 (E54卒) 羽瀬博之 (E57卒) 田淵雄二 (E59卒) 西明 (E49卒) 植西 輝吉 (M46卒)

今年も、7月29日(日)に府立体育館で行なわれます。

三年連続を目指していただきますので応援をお願いします。

又、白水剣友会会長の山畑阿威 磨氏 (A33) が、昨年の北海道国体の大将として大阪代表で出場致しました。(記 植西輝吉 (M46))

手編糸・メリヤス糸 晒加工

**株式会社 佐野毛晒工場**

田 阪 雅 計 (D28卒)

☎535 大阪市旭区中宮1丁目10番28号  
TEL. 954-2151

そば処

**やまがぼ**

木 内 政 雄 (C33卒)

大阪市福島区鷺洲2丁目15-33  
TEL. 458-5819

洒落た高級すし店

**すし 眞**

YOU

専務取締役 田 中 豊 三 (S38卒)

☎532 大阪市淀川区新北野1-9-15  
ホテル・プラザオーサカ1F  
TEL(06)304-2225 (直通)

佐々木満寿先生を悼む

(A28) 浜中 富三

白衣のボタンを全部はずし、温顔そのもののお顔で、飄飄と、裾をひるがえしながら校内を歩き、新人生などから質問を受けると、こぼれんばかりの笑顔で親切に答え、必要ならば、その場所まで案内しておられる先生がいた。

それが、戦前から泉工につとめておられた佐々木満寿先生であった。

「そんな先生のお姿が泉工で見られなくなつて何年になるかなあ」と今年の入試時期に思いうかべておつた。そしたら、四月に入つて間もなく、先生の訃報に接し、愕然としていた。

「鉛筆紙とは何か」「著塩というのとは何か」定性分析の授業中、入学して何日も経っていない我々に海々とこのような講義をされるのには面くらつてしまった。

「シェンシェイの言っていることをよく聞いているものは、よくわかるはず」とやられるのに閉口した先輩諸氏も多いだろうと思う。

昭和二十年九月に、「シェン台風」が大坂地方を襲つた。特に大正区は風害もさることながら、高潮の被害が甚大であった。泉工も永らくその時の潮位を示すあと

が校舎のそこかしこに記されていた。工業化学科の一階薬品庫も完全に水没し、ロウ封している薬品瓶はラベルがはがれているが中味は健在といった試薬が真黒な泥の中に多く残つた。

それから何年間は、実習といえども、これらの試薬を特定するオーラル分析が主であつたような気がする。

末修得の分野を各種の文献をたよりに、一人一本(通常は一人一テーマというべきであるが)をその日のうちに分析完了というノルマを課せられたものだ。

四苦八苦して、やつと化合物を特定し、報告書を出すため準備室に行く佐々木先生の厳しい口答試問が待っておつた。分析手法からイオン確認の各個反応、分子式の組み立て、化学名と通称名等々を詳細にわたつて質問され、中にはいい加減にやつておつたものが大目玉を喰つて、頭をかきながら帰つてきたりしたものである。

この調子でしごかれたことが、四十年たつても鮮やかに思い出され、なつかしく思われるのは、先生の厳しさがあたたかみのあるお人柄のせいであらうと思う。

また先生は、お酒をこよなく愛され、酔いが回るほどに、苦しかつた軍隊時代の話しをなさるのが

常であつた。話しが進む程に、ひどい内容がほのぼのとしたあたにかい昔話を聴いているかのような錯覚を覚えるのは語り口もさることながら、やはりこれも先生のお人柄のしからしむところであらうかと思つている。

ある冬の朝、早くから出勤された見え職員室には石炭ストーブが赤々と燃え、お茶を入れて職員の出動を待っておられた。

「ホイ、お茶をどうぞ、吉備ダングをどうぞ」とサーブして下さる。ケゲンな顔をしている職員に、破顔一笑「ゆうべ、一寸岡山まで行つて来てネ……」。何のことはないお酒を飲みすぎて、姫路で下車して帰宅すべきところを車内で寝込んでしまつて気がついて、岡山であわててとんぼ返りで出勤したとのことで、ドツと哄笑がふき上つたこともあつた。

退職時に体調の不調を訴えられていたが、その後病臥の状態から抜け出し、不屈の精神力で、特別仕様の自転車にも乗れるようになり、「筆も握れ、年賀状を書いていきます」と順調な回復ぶりを聴いたのはつい二、三年前であつたように記憶する。

その後、年二回の短い文のやりとりで、お元気の由を確めていたが、本年の年賀状が遺筆となつてしまつたのは誠に残念でならな

い。

享年七十九才であつた。

先生の冥福を心から祈り、追悼のことばとしたい。

訃報

西井正博氏 (M18)

第七代大阪白水会会長であり、元機泉会会長として、会の発展に大変ご尽力頂いた西井正博氏が、平成2年5月3日に逝去されました。享年66歳でした。謹んで哀悼の意を表し、御冥福をお祈り申し上げます。

覚えてますか

以前の本館、玄関中央階段手すり支柱の頭部。  
現在、南館5F白水会事務局に保管。



新築、造改築の御相談は是非

市岡建設(株)へ

市岡建設株式会社

代表取締役 角岡貞治 (M33卒)

大阪市大正区小林西1丁目8番21号(串田病院西裏通り)

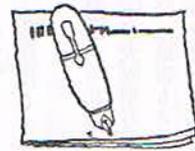
TEL (06)554-1621代 FAX (06)554-1625

建設機械のリース・レンタル専門

有限会社 日商機械

姫野康通 (M47卒)

本社 大阪市浪速区本津川1丁目2番3号  
電話 (06)568-3236-7番  
総合機材センター 大阪市西成区南津守2丁目2番43号  
電話 (06)658-2233番  
FAX (06)658-9481番  
営業本部 大阪市浪速区堀草3丁目5番20号  
電話 (06)568-3211番(代表)  
FAX (06)568-3212番



会員だより

母校に寄せられた会員の方々の近況をお知らせいたします。会費納入、住所変更などの機会に、しとしお便りをお送り下さい。

S 10 三浦 良貴  
相変わらず元気で余生を楽しんで居ります。

S 12 山村 英夫  
妻と二人で元気に暮らして居ります。

S 13 磯田 修  
無職なるも、毎日元気に送って居ります。

S 17 岡田弥三郎  
会社OB会業務と地域社会の要請で頑張っております。

S 20 岡崎 英雄  
総会には、お世話になりました。40数年振りの出席でしたが、何人か、知人と再会し感激しました。どうも有難うございました。

S 21 村上 博史  
卒業以来勤務したグンゼをこの3月(平成2年)定年退職しました。これからは社会に役立つことをしたいと思っています。

S 33 上瀬 和男  
会報いつも送って下さっており、ありがとうございます。母校の、又、

進出が著しいです。柔道部の皆

S 42 小島 洋二  
看護士として精神保健向上を目指して頑張っています。

S 43 宮崎(久保)美香  
辻村先生を開んでの同窓会、20年の時を一概に縮めて、又、時の経過を思い知らされてと複雑な心境で、楽しく聞く事ができました。

S 44 山崎(太田) 絳子  
今年も計画しています。

S 44 山崎(太田) 絳子  
春・夏の甲子園行き、近頃は公立高校もがんばっている良。母校の名をいつも探し楽しみにしているのですが……。

S 44 山崎(太田) 絳子  
元気にしています。毎日雑用に追われて忙がしく過ごしています。

S 48 西尾(木下) 恵子  
柔道部の初代女子マネージャーです。どこの世界に於ても女性の進出が著しいです。柔道部の皆

S 48 西尾(木下) 恵子  
卒業後ちょうど六十年を迎えて一入感無量です。母校のますますの発展を祈りおられます。

D 4 奥川 敏郎  
会報を探見しましたが、昭和4年卒を探しましたが、さすが八十才近くになるとネ、一寸淋しいが見あたりません。

D 4 奥川 敏郎  
しかし、若い諸君の元気な活躍ぶりが目の前に浮かんで、吾々の泉工時代の又変わったヤンチャ振りを思い出します。

D 27 中屋敷 正  
昭和21年4月から27年3月まで6年間の在校時が会報が届くと、なつかしく思います。川浪先生、西出先生がなつかしいです。

D 28 梅田 忠平  
現在、東大阪市にて損害保険業界で頑張っています。

D 28 梅田 忠平  
会報なつかしく拝見しました。転勤で住所を12回変わりましたので、音信不通でした。今は奈良で永任の予定です。NTT関西支社設備企画部に勤務しています。

D 28 梅田 忠平  
卒業後三六年、この間三回の同窓会を開き、旧交を暖めておりますが、恩師の榎原先生をはじめ親友の一部が亡くなるなど、淋しい思いがするこのごろです。

D 32 隈元 博久  
相も変わらず紡績の営業部門で母校の先輩諸兄と共に一生懸命頑張っております。白水会のみならずのご発展をお祈り致します。

D 33 西岡 春樹  
看板屋を開業して丁度5年。自社工場を建てる事が出来ましたが、盛夏の移転は体力的にも参りましたが、ますます頑張る借入金返済を一日も早く終わらせたいものです。

D 39 中尾 弘正  
昭和41年個人で運送業を営み、54年中尾源(株)の社名で運輸

D 39 中尾 弘正  
貧血にて体力維持に苦労しております。日常は家庭菜園を楽しんでおります。

D 6 森本兵太郎  
D 6の同級諸君の殆ど大半は亡くなられたらしく、寂しい思いを致しております。

D 9 安田 育雄  
地域社会の一員として、楽しく暮らしています。

D 11 福永 義一  
お陰様で毎日元気でおられます。

D 11 福永 義一  
東洋紡を定年退職後は、山口で健康保持のためと思ひ湯田温泉「かめ福」ホテルに勤務中です。

D 11 福永 義一  
お陰様で毎日元気でおられます。

D 11 福永 義一  
東洋紡を定年退職後は、山口で健康保持のためと思ひ湯田温泉「かめ福」ホテルに勤務中です。

D 11 福永 義一  
お陰様で毎日元気でおられます。

D 11 福永 義一  
東洋紡を定年退職後は、山口で健康保持のためと思ひ湯田温泉「かめ福」ホテルに勤務中です。

D 11 福永 義一  
お陰様で毎日元気でおられます。

D 11 福永 義一  
東洋紡を定年退職後は、山口で健康保持のためと思ひ湯田温泉「かめ福」ホテルに勤務中です。

D 11 福永 義一  
お陰様で毎日元気でおられます。

D 11 福永 義一  
東洋紡を定年退職後は、山口で健康保持のためと思ひ湯田温泉「かめ福」ホテルに勤務中です。

D 11 福永 義一  
お陰様で毎日元気でおられます。

D 11 福永 義一  
東洋紡を定年退職後は、山口で健康保持のためと思ひ湯田温泉「かめ福」ホテルに勤務中です。

D 11 福永 義一  
お陰様で毎日元気でおられます。

D 11 福永 義一  
東洋紡を定年退職後は、山口で健康保持のためと思ひ湯田温泉「かめ福」ホテルに勤務中です。

D 11 福永 義一  
お陰様で毎日元気でおられます。

D 11 福永 義一  
東洋紡を定年退職後は、山口で健康保持のためと思ひ湯田温泉「かめ福」ホテルに勤務中です。

D 11 福永 義一  
お陰様で毎日元気でおられます。

D 11 福永 義一  
東洋紡を定年退職後は、山口で健康保持のためと思ひ湯田温泉「かめ福」ホテルに勤務中です。

D 11 福永 義一  
お陰様で毎日元気でおられます。

D 11 福永 義一  
東洋紡を定年退職後は、山口で健康保持のためと思ひ湯田温泉「かめ福」ホテルに勤務中です。

D 11 福永 義一  
お陰様で毎日元気でおられます。

D 11 福永 義一  
東洋紡を定年退職後は、山口で健康保持のためと思ひ湯田温泉「かめ福」ホテルに勤務中です。

D 11 福永 義一  
お陰様で毎日元気でおられます。

D 11 福永 義一  
東洋紡を定年退職後は、山口で健康保持のためと思ひ湯田温泉「かめ福」ホテルに勤務中です。

D 11 福永 義一  
お陰様で毎日元気でおられます。

D 11 福永 義一  
東洋紡を定年退職後は、山口で健康保持のためと思ひ湯田温泉「かめ福」ホテルに勤務中です。

D 11 福永 義一  
お陰様で毎日元気でおられます。

D 11 福永 義一  
東洋紡を定年退職後は、山口で健康保持のためと思ひ湯田温泉「かめ福」ホテルに勤務中です。

“色を選ぶ時代になりました。色に関して技術で無限の美しさを追求します”

毛糸、敷物用の糸及び紡績原料の染色加工

**北嶋染工株式会社**

社長 北嶋 豊 (D20卒)

☎595 泉大津市昭和町5番2号  
TEL (0725) 21-4116(代)  
FAX (0725) 22-4522

《日本の旅から世界の旅まで》

**Taito** タイトサービス

代表取締役 丸本泰生 (M41卒)  
磨田昭男 (S40卒)

〒550 大阪市西区北堀江2-10-18-203  
TEL (06) 536-1156(代)

省から一般区域貨物運送事業の免許取得し、現在15台21名の社員で頑張っています。

D 42 田代 交代

丈夫だけが取柄の私が一昨年春から体調をくずし、今は元に戻す努力をしています。やっぱり年かなあ。

D 43 太田(竹内) 千春

43年卒業クラスの理事をさせてもらっていますが、充分なことができなかったです。誰かに代わってもらおう……ということにはなりませんか？

D 45 田中(加藤) 順子

平成2年で、卒業して二十年、結婚して十五年を迎えます。四人の子供に囲まれ、毎日同じことのくりかえしですが、これが一番幸せかなと思う今日のごろです。

D 51 阿部由美子

高木 千鶴  
藤森 晃子  
14年ぶりに、三人をそろって学校に来ました。色染料の煙突がなくなり、まわりがすっかり変わってあるのにはびっくりしました。

でも、やっぱり少しおまかげも残ってなつかしかったです。

堀田先生が三月で学校を去られるのはさびしいけれど……。長い間ごろうさまでした。

C 3 藤 常和

平成元年6月末日を以て品川白

練瓦葺間を退任、(1) 向の勤めを花に終えました。幸に元気です。

C 3 佐坂 光春

現在は健康にて小康を得ています。先生方及び旧友の方、この過ぎし頃の思い出等、学校の移り変わりを懐しく思っています。

C 3 柳井 二郎

只今の処大きな故障もなく、元気で暮しています。軽い仕事を持っており、毎日出勤しています。「無理は禁物」をモットーとして毎日を過しています。

C 9 麻野 彦治

少し健康を害して居りますが、家業に従事、其他余世は悠々自適の生活を送っております。

C 10 玉井 彌一

身体も元気です。御蔭で第二線でご高頑張っております。

D 10 谷本市三郎

毎日元気に会社に勤めて居ります。ご安心下さい。白水会員の皆様との健康と発展を祈ります。

C 11 横山 正

昨年度より入院中。

C 12 辻 芳次

毎々御世話に相成ります。夫婦で平凡な日々を過して居ります。

C 16・3 藤元 京次

花の万博を契機に町の美化を推進するため「すきやねん大阪美化推進地区」モデル地区に指定され、その実行委員長として事業に

取組んでいます。各種団体の役職の仕事もあり、元気で頑張っております。

C 16・12 岩田 義治

御蔭様にて相変わらず元気でやっています。大学の勤めも早や10年になります。これからも頑張り

C 17・12 広居 英武

平成元年7月5日、同窓クラス会を市岡で、11名集合。

C 17・12 古武 正幸

卒業時37名中、所在の明確な者22名の丁度半分は、ちょっと淋しかったよ。でも、吉野君は長崎から、高下君は広島から、田中君は名古屋から来てくれた。消息不明者は6名、物故者は9名も、あゝ。

C 17・12 古武 正幸

合掌  
定年退職後ゆっくりしています。

C 24 吉原 一夫

定年になり自宅で神戸屋ショップのパン屋を営んでいます。

C 24 三國 敏成

上海から来た嫁の方は元氣な孫をつくってくれましたが、北京から来た嫁の方は末だその氣配もないので残念です。新しい職場も4年目を迎え忙しくなって来まして。

C 26 大賀 秀幸

娘が平成元年三月結婚やれやれです。外健康、職業家内一同全く

変化なく(シ)を取っただけ。大阪市立長吉中学校に勤務しています。

C 29 阿部 忠

人手不足の点だけは大企業なみ。もう少しで工場内で閑古鳥が鳴くかも……。

C 30 小浦 清治

50歳をもって脱サラし、新しく出発しました。次は75歳です。

C 32 曾根 朗

私の息子は高校二年生になりました。私が二年生の時の想い出は、市電にゆられて通学したことです。

C 33 嬉野 善彦

毎日毎日が忙しい日々です。健康だけが取柄としています。

C 35 西尾 哲夫

あいかわらず頑張っています。

C 36 岡林 勝二

一昨年9月に24年間勤務していたセントラル硝子㈱を退社、現在、吾彦建築設計事務所で建築士として再スタート。

C 39 松村 満

東大阪のYMCAに勤務しております。お子様のことはぜひYMCAへ。

この7月で、丁度73歳になりました。目下悠々自適。3人の子供も夫々独立、以来家内と2人きりの生活がつづいております。お蔭様で2人とも元気でおります。

A 9 高木 貞次

自営(防水業)をしています。母校の硬式野球部を応援しています。皆様の協力を、お願いいたします。

A 22 大砂古 登

昨年、参議院選挙があり、バタバタ忙しく追い廻されてました。市議員に当選して、早や10年間がすぎました。

A 37 宇部宮正則

元氣に勉強に、剣道ガンバッテおります。お世話かけますが、よろしくお願ひ致します。

A 63 山畑 克明

三菱重工に在職中は、海外・国内の化学プラント建設に従事、退職後、要請を受け、工事に密着した設計教育を行なっており、機会があれば後輩に対し話を

M 20 桑田 秀夫

してあげたいと思っております。

M 40 上出 俊和

日立に入社以来25年目となりました。一度母校を訪ねたいものと思っております。土木建設機械のメーカーです。(日立建機㈱)建設業の方、お電話下さい。

C 55 田中 純毅

毎日元気で頑張っています。母校の益々の発展と、素晴らしい人材の育成を心よりお祈り致します。

### 慾に縁のない 人生だった

長瀬 次昌

退職したその日は、忘れられない大きな喜びでした。三十年間時  
間と責任に縛られた生活から、何  
の束縛も受けない天下晴れての浪  
人となったこの愉快さは、正に人  
生の大きな一節でした。戦争にな  
る前から、町にかり出され、市の

青年団長、翼賛会の壮年団長を兼  
務しながら、出征された先生の留  
守番や、企業への依頼に応じるなど  
働くうちに、それぞれの裏面が見  
えてくるものです。やがて敗戦に  
終り、新しく職を求めて、泉尾工  
業に就職が出来ました。  
有名校だけにいい先生方にめぐ  
りあい、数々の経験が出来まし  
た。

学校のなじんだ頃、私の授業時  
間の不足を補う意味もあって、図  
書館係にまわしてもらって、課外  
活動の図書部を引継いで、図書館  
づくりに勤めました。学校に図書  
館のないのは、臥竜点晴を欠くも  
のだと、アメリカの指導を受ける  
までもなく、卒先して専門家の知  
識を求めたのです。さすが都島工  
業、図書館と云ってもいい程の施  
設と図書を持っていました。

図書館の充実を計る為には、先  
ず教師の専門的知識の向上、その  
ための学校司書の研究会と、生徒  
委員の力をかりるため、市高の図  
書委員連盟を結成させ、各校の充  
実を促したのです。  
委員諸君は熱心でした、その成  
果は目覚しく、結成五周年目の十  
一月三日の文化の日に認められ  
て、市教育委員会の表彰となりま  
した。生徒委員の活動も、司書活  
動も近畿に及び、神戸、京都、和  
歌山と出かけるまま東奔西走、日  
曜祭日もなく十年つづきました。

清廉潔白であるべき法曹界です  
ら、人間の社会であると云うこと  
を知りました。勇退される迄司法  
記者で通された尊敬すべき方の著  
書『汚れた法衣』を読んで、その  
感を深くしています。聖人君子を  
見る術もありません。  
高山寺の国宝鳥獣戯画、狐狸猿  
兎等の動物が演じる姿は、人間の  
醜さを風刺したものでしょう。人  
間の行為も実に滑稽に見える時が  
ありますね、慾を捨てた人生にい  
ささかも悔はありません、青天白  
日の境地です。何の苦もなく、気  
になることもなく、自然の美を求  
めて旅をし、学生時代から持ちつ  
づけている三つの研究を楽しん  
でいます。  
御機嫌よろしく。

### 先生 お元気ですか



31 三、〇〇〇円  
9 桃谷太喜二 15 荒井政敏  
20 岡崎英雄 27 中村寿太  
32 山本忠夫 34 杉本惟弘  
36 西山満夫 39 矢島健二  
40 美馬駿二 42 木内利雄  
48 西尾恵子  
二、〇〇〇円

33 上瀬和男 35 表田 隆  
38 中尾敏孝 40 池田未男  
40 佐藤正隆 45 大石賢司  
57 勇田洋伸 60 柿木多美栄  
一、〇〇〇円  
3 上中 隆 4 飯田年春  
7 神田 茂 8 宮内義政  
9 遠藤喜三郎 9 山本 昇  
9 和太三郎 10 由井昌雄  
10 山本義頼 12 多胡正治  
12 林 利一 12 森久須之助  
12 山村英夫 13 藤田明雄  
14 勝 秀一 14 幸田 勝  
14 正司 弘 14 藤崎豊彦  
14 堀井健一 14 吉木茂太郎

15 上田良之助 15 大石博  
15 喜多俊雄 15 下辻 宏  
15 長沢慶一 15 前川良夫  
16 青木一己 16 五十崎彰  
16 石井 弘 16 岡田 稔  
16 沖 奨 16 久保田清  
16 小林直樹 16 南野泰三  
16 富名腰朝和 16 松崎 敏  
16 渡部 孝 17 上田三郎  
17 岡田弥三郎 17 沖由文  
17 宮南 禾 17 毛利 忍  
18 上田茂実 20 黒田芳昭  
20 佐渡秀則 20 谷 齊  
20 中井恒郎 21 池田幸男  
28 安村寛次 28 津田義清

31 三國 広 31 横田 功  
32 服部奈良次郎  
33 久保 勝 35 大坪義明  
35 佐々井賢三  
35 田中雄一郎 35 竜美附雄  
35 平野精二 35 又吉康憲  
36 垣内 博 37 千頭貞夫  
38 堺 雄二 39 我那覇民義  
40 打越一雄 40 喜田 稔  
42 大石繁男 42 小島洋二  
42 中村吉秀 42 中尾義博  
43 北口幸治 43 嶋田一美  
43 島田勝美 43 堀口仁志  
43 小島由美子 43 宮崎美雪  
44 寛野英子 45 岸本康子

### 平成元年度 会費・寄付納入一覧

(平成二年四月現在)

(敬称略)

#### ●紡織科・繊維工業科

- 五〇、〇〇〇円
- 5 生島経一
- 三〇、〇〇〇円
- 29 谷 利行
- 二〇、〇〇〇円
- 4 布谷伊光
- 一〇、〇〇〇円
- 9 松本吉寛
- 16 吉村英一
- 18 西本宗秋
- 28 日笠一清

- 39 笠嶋満夫
- 五、〇〇〇円
- 7 加藤正義
- 7 佐野正三
- 8 尾崎一郎
- 10 三浦良貴
- 12 野田成男
- 15 高橋誠一郎
- 16 後藤達之助
- 28 小西一正
- 37 芳武 豊
- 38 米沢秀昭
- 44 山崎峰子
- 45 前田恵子
- 四、〇〇〇円
- 8 藤条正夫

- 5 中村正治
- 9 松井宏臣
- 13 磯田修司
- 13 川口喜三
- 14 芝 道秋
- 15 大坪吉行
- 16 佐竹惟信
- 17 武藤寛志
- 17 西谷千秋
- 18 藤川一市
- 21 村上博史
- 27 奥田和之
- 31 佐名木幸伸
- 31 矢部俊司

- 33 上瀬和男
- 35 表田 隆
- 38 中尾敏孝
- 40 池田未男
- 40 佐藤正隆
- 45 大石賢司
- 57 勇田洋伸
- 60 柿木多美栄
- 一、〇〇〇円
- 3 上中 隆
- 4 飯田年春
- 7 神田 茂
- 8 宮内義政
- 9 遠藤喜三郎
- 9 山本 昇
- 9 和太三郎
- 10 由井昌雄
- 10 山本義頼
- 12 多胡正治
- 12 林 利一
- 12 森久須之助
- 12 山村英夫
- 13 藤田明雄
- 14 勝 秀一
- 14 幸田 勝
- 14 正司 弘
- 14 藤崎豊彦
- 14 堀井健一
- 14 吉木茂太郎

- 15 上田良之助
- 15 大石博
- 15 喜多俊雄
- 15 下辻 宏
- 15 長沢慶一
- 15 前川良夫
- 16 青木一己
- 16 五十崎彰
- 16 石井 弘
- 16 岡田 稔
- 16 沖 奨
- 16 久保田清
- 16 小林直樹
- 16 南野泰三
- 16 富名腰朝和
- 16 松崎 敏
- 16 渡部 孝
- 17 上田三郎
- 17 岡田弥三郎
- 17 沖由文
- 17 宮南 禾
- 17 毛利 忍
- 18 上田茂実
- 20 黒田芳昭
- 20 佐渡秀則
- 20 谷 齊
- 20 中井恒郎
- 21 池田幸男
- 28 安村寛次
- 28 津田義清

- 31 三國 広
- 31 横田 功
- 32 服部奈良次郎
- 33 久保 勝
- 35 大坪義明
- 35 佐々井賢三
- 35 田中雄一郎
- 35 竜美附雄
- 35 平野精二
- 35 又吉康憲
- 36 垣内 博
- 37 千頭貞夫
- 38 堺 雄二
- 39 我那覇民義
- 40 打越一雄
- 40 喜田 稔
- 42 大石繁男
- 42 小島洋二
- 42 中村吉秀
- 42 中尾義博
- 43 北口幸治
- 43 嶋田一美
- 43 島田勝美
- 43 堀口仁志
- 43 小島由美子
- 43 宮崎美雪
- 44 寛野英子
- 45 岸本康子

- 45 木下和子 45 田口健二郎  
45 中尾博一 50 菅惠美子  
50 田中路子 平成一覽一 1 黒瀬貴浩  
●色染料・色染工業科  
50、000円  
40 吉田勝紀  
34 矢引浩一  
30 福森又夫  
16 辻野久夫 20 竹内照明  
5、000円  
6 森本兵太郎 13 鎌田修一  
15 堂谷榮一 30 小川 治  
31 平岡利隆 32 瀧本広之  
34 龍谷丈夫 45 田中順子  
3、000円  
3 永富鶴三 4 山本信之  
10 市居豊治 12 中川市造  
16 中西隆利 17 岡崎弘男  
17 吉浦 稔 21 嶋 豊  
21 村田嘉三 32 中屋敷正  
33 内山雅夫 33 山本國昭  
32 正田 一 36 井上弘保  
37 俊原修一 39 月山一夫  
39 中尾弘正 42 松宮政幸  
43 太田千春 50 中村幸恵  
二、000円  
8 岩倉晴美 9 本映利邦  
11 天野嘉信 12 田中義人  
12 松田家男 14 宮内 彰  
16 是水浩作 16 宮崎精一  
17 林 雅行 18 濱口隆昭  
20 濱本浪雄 21 堀 省三  
27 京極博光 29 岸岡 曉  
29 玉村 弘 35 津村研二  
35 林田慶三 36 大関 浩  
38 十川征洋 38 浜田充彦  
41 広尾正樹 42 川本映子  
48 堀川佐智代 49 沖元英一  
42 田代文代 42 樋口多代  
42 古川 伸 46 井上真知子  
46 柿内由紀子 47 上柳田浩子  
48 山田明美 50 畑山初子  
53 石原浩子 55 辻 美初  
一、000円  
2 小川治助 3 石村芳郎  
4 奥川敏郎 4 小西国男  
4 西機民雄 4 浜 建次  
5 石田帝介 5 杉本俊夫  
5 村田要人 5 森野泰命  
7 石田正利 7 佐藤 明  
7 高橋 澄 7 福本長五郎  
9 上田俊彌 9 安田育雄  
10 川北順一 11 西明得治  
11 福永義一 11 森 信也  
12 加藤武之助 12 加藤春雄  
13 小椋圭一 13 中務昌治  
13 濱口幸八 13 平松秀一  
14 内田信一 15 櫻井邦彦  
15 西田 肇 16 岡村 博  
16 奥村耕造 16 柴谷吉宣  
16 濱口研次 16 福嶋節生  
16 水川嘉海 16 村田寿太郎  
16 吉川芳男 18 山岡 清  
20 池田和夫 20 市川景一  
20 近藤 和 20 柴田和男  
20 鈴木寛治 20 森内春茂  
20 藤本順三 27 堀田啓一  
28 梅田忠平 28 村田忠夫  
29 高倉史郎 30 松谷 保  
32 伊藤 猛 32 本間 靖  
33 安武滋夫 34 大村 実  
34 永岡正憲 34 吉本恒夫  
36 角田光治 37 香川佳弘  
38 福山博之 40 川上敏夫  
40 渡辺 一 42 西羅高代志  
42 松尾義博 43 高野加代子  
43 戸嶋美子 44 安積由起子  
45 沖 康江 47 浜田久子  
48 堀川佐智代 49 沖元英一  
49 山野陽子 50 小川博美  
52 門田秀子 52 藤沢智恵子  
53 邑信信恵 57 菅 妙美  
57 大野美加 59 三村とみ子  
59 水島君江 ●窯業科  
二、000円  
10 藤野彦治 55 田中純毅  
一、000円  
4 木下錦司 6 田村信三  
8 布谷 功 12 山下俊彦  
12 横井善一 32 會根 朗  
五、000円  
2 森井 新 18 太田正義  
18 大谷正男 26 上中律三郎  
33 石河雅祥 35 大崎 進  
四、000円  
4 安野三弥 6 玉川英夫  
三、000円  
3 柳井二郎 10 谷本市三郎  
10 谷本市三郎 10 玉井彌一  
12 井木 実 14 藤原弘純  
14 龍門 寛 15 合田 浩  
16 家村 巖 16 藤元京次  
26 大賀秀幸 33 崎野善彦  
30 藤盛茂記 33 玉城利和  
40 福盛茂記 42 高崎 勉  
44 斎藤 博 53 丸本耕二  
二、000円  
4 木村 要 4 徳本 操  
7 伊奈岡芳次 7 古武 隆  
7 藤村嘉夫 8 小林豊太郎  
12 勝屋一志男 14 飯野 巖  
14 谷森弘秀 16 岡田 実  
16 浜口隆信 16 前川善昭  
17 赤木三郎 17 治良政幸  
18 大前 博 20 布垣裕嗣  
24 三國敏成 25 坂口 輝  
33 木内政雄 34 尾上宜規  
35 佐賀木康邦 40 西田繁雄  
一、000円  
3 水谷龜雄 3 塚 常和  
3 佐坂光春 5 深田志郎  
6 植木克祐 6 松田一之  
6 清水 剛 8 小川辰雄  
9 森分重信 10 浅井松太郎  
10 安部 毅 10 梶谷信男  
10 中村安一 10 竹川利夫  
10 藤懸永明 10 横山 正  
11 川村 明 11 横山 正  
12 岡見伊三夫 12 片岡長正  
12 辻 芳次 13 大石皓造  
14 上田猛雄 14 高橋喜三郎  
15 岡崎之男 15 岡田 浩  
15 合田 浩 15 竹内敏次郎  
15 中山悦一 15 橋本恒市  
15 吉田耕二郎 16 岩田義治  
16 北村一郎 16 佐藤菊松  
16 長谷川恒治 17 大田利勝  
16 本西富太郎 17 高下喜久蔵  
17 古武正幸 17 高下喜久蔵  
17 田中 健 17 中村 勇  
17 林 正温 17 広居英武  
18 伊勢清秀 20 井原 巖  
20 楠田博之 20 巽 伊作  
20 玉川史郎 20 千葉寿一郎  
20 木會敏夫 20 高下健吉  
20 横山豊太郎 21 磯野直員  
22 山田和男 24 吉原一夫  
25 池田富士夫 25 長尾石広  
28 竹内 弘 29 阿部 忠  
29 古川明二 30 小浦清治  
30 橋本隆治 30 綿貫好高  
31 多木宏光 31 土橋清平  
31 平尾武義 33 飯野信夫  
33 河本 勝 34 岡安嘉博  
34 橋高 清 34 妹尾 修  
34 高島敏弘 35 今井 寿  
35 瀧川泰三 35 西尾哲夫  
36 岡林勝二 36 井上憲一郎  
36 中村正嗣 36 茂田義昭  
38 谷口 猛 39 松村 満  
3 貝手良一 40 木地清司  
4 北口昌克 40 西村良朗  
41 木村幸吉 43 木村善広  
43 高野和行 47 武田龍一  
51 福田修美 60 長谷川峯子  
61 松田幸治 平1 奥田 仁  
一、000円  
7 山下辰雄 17 清水博司  
18 大道邦雄 20 藤原昭三  
28 塚谷俊介 29 平島幸一  
31 佐藤忠昭 34 吉田紀夫  
六、000円  
20 森田 豊  
五、000円  
10 齊藤一博 17 横山幸男  
18 宇賀節雄 18 福井雅由  
26 中村順一 28 高橋 博  
35 一階成介 36 一階栄一  
37 宇都宮正則  
四、000円  
37 吉田忠康  
三、000円  
7 藤井 武 8 前田 博  
9 高木貞次 9 南 彰  
12 青木精一 12 伊藤俊吾  
12 大都城是雄  
12 研田秀三郎  
15 荻野進造 16 合田富美雄  
16 平田 稔 22 大砂古登  
28 犬飼 功 29 広谷宗夫  
31 池田耕治 32 尾崎誠悟  
33 山畑阿威磨 37 高瀬 迪  
44 藤田正範 44 河重 勉  
二、000円  
3 立岡貞雄 8 唐谷美明  
10 八木古太郎 16 大森春樹  
11 桂樹日出雄  
16 北村 定 16 松下幹夫  
17 荒木桂一 17 橋本 博  
18 高津安雄 18 八木幸男  
20 橋本 貢 20 小山力生  
大正14安田禎次郎  
3 板野徳祐 3 田淵新吾  
5 宮崎邦三郎 7 家次房夫  
7 菅原貞光 7 仁木 与  
8 荒木邦夫 8 神林鉄五郎  
8 戸川政美 9 府上正豊  
10 有田正雄 11 井川英三  
11 瀬川栄一郎 11 永井淳治  
13 木原陸男 13 松本諒士  
14 桑野朝蔵 14 竹花稔一  
15 東野三郎 16 岡正十三  
16 合田春彦 16 鈴木市松  
17 永田三郎 17 西阪 茂  
18 岡本広高 18 北田 章  
18 田辺 豊 18 山口謙一  
20 宇佐美昭司 20 川端信之  
20 桑原一策 20 西田 孝  
20 水谷清久 21 和多田清  
23 鷺本昇治郎 27 吉田時雄  
28 斧原陽三 28 信塚 實  
28 杉野道雄 28 田村隆司  
28 福村吉晃 28 丸山信次  
28 山岸 巖 30 西原隆司  
31 徳井 稔 31 頼金利昌  
32 龜尾 貴 32 茂松久人  
32 和崎八寿蔵 33 松本音平  
34 中崎紀夫 34 畑 暢一  
35 佐藤久雄 35 椎原常夫  
35 多川碩一 35 寺田義彰  
36 桑原真則 36 坂本善明  
37 駒田喜弘 37 阪上陽三  
38 坂井尚之 38 鶴田完爾  
38 山田 清 39 高元和彦  
39 森岡 章 40 池田隆司  
40 市橋輝久 40 稲田 宏  
28 南園良尚 29 三宮 勲  
29 浜口憲弘 34 寺田稿市  
35 戸田勝裕 43 池田 実  
43 大沢 準 45 岩浅秀雄  
45 高山佳子 51 中浜康仁  
53 高橋隆夫  
一、000円

- 40 西尾憲一 40 山本俊司
- 41 北本浩 41 根求繁雄
- 41 馬場陽光 42 尾崎和儀
- 43 佐々木和則 45 豊島良次
- 45 吉村英志 51 坂口 園
- 58 坂口卓史 58 高橋利江
- 62 土門弘治 63 岩田幸二郎
- 63 江口正勝 63 大橋一弘
- 63 山畑 克明 平1 源秀明
- 機械科
- 一〇、〇〇〇円
- 26 中川俊和 31 松本暢之
- 33 角岡貞治 35 黒沢三八
- 五、〇〇〇円
- 18 北山良治 26 野村光雄
- 26 森本 進 34 稲田隆幸
- 34 北田昌由樹 37 寅本正和
- 46 宮城 惇 49 玉木正三
- 三、〇〇〇円
- 20 桑田秀夫 20 原田圭二
- 21 一井陸紀 21 松家信人
- 26 岡部浩也 35 木谷嘉秀
- 35 三府義和 35 谷口暢男
- 37 前川金四郎 39 岡本欣三
- 40 上出俊和 40 安井博司
- 43 山本真資 45 城間正行
- 57 有村直文 60 吉井俊明
- 平1 高林直文
- 二、〇〇〇円
- 20 上田 亨 32 平井 勲
- 33 藤原 剛 33 三原富性
- 34 網野雅文 34 西山瑞彦
- 34 廣田 実 35 村木高史
- 35 山口俊夫 36 池田英起
- 36 華山嗣英 37 一宮裕治
- 37 市場邦男 38 余野木隆志
- 39 田中 潔 40 三宅孝史
- 41 齊藤昌彦 41 富田清吉
- 41 野崎正節 41 柳 和雄
- 42 井上裕信 42 山田登志雄
- 47 林三千男 48 山田善朗
- 50 清水春松 50 橋本 猛

- 63 田原明広
- 一、〇〇〇円
- 18 西井正博 20 青木昭二
- 20 遠藤信義 20 正月義春
- 20 石崎清(細川)
- 20 丸山幸雄 20 真砂良一
- 25 上野 勇 25 西川義人
- 25 諸山 登 26 溝淵初男
- 29 奥山茂樹 30 角田彰宏
- 31 木村作太 31 中川政美
- 31 中林一郎 32 新井俊一
- 32 中島伊佐央 32 野口隆士
- 33 佃 亘 34 井上信雄
- 34 蔭山 宏 34 勝亦要夫
- 34 木村勝彦 35 赤沢 浩
- 35 玉崎継一 35 矢田 寛
- 36 猿田一男 36 三谷次房
- 36 北口哲男 37 石川博信
- 36 三宅正治 37 野路末好
- 37 寺尾誠一 38 高橋健晴
- 38 吉田 聖 39 落谷正明
- 39 吉田庄造 40 押谷敏治
- 40 福村健一 41 澄 直治
- 42 木下秀男 43 西口 修
- 43 和田隆喜 44 楠葉敏郎
- 45 浜内郁夫 46 松山 登
- 46 金城幸貞 46 松尾一郎
- 48 山崎一雄 49 矢野 盟
- 50 奥富靖弘 50 曾野文彦
- 51 千喜良敬 51 山本守夫
- 54 高木浩也 54 小田誠治
- 55 窪口克彦 57 今津武志
- 58 上甲義彦 59 斎藤健二
- 61 田村 茂 61 荻田 一
- 61 圓山 猛 平1 土門栄二
- 1 橋本圭介
- 電気科
- 五、〇〇〇円
- 41 田中啓治 43 上平敏雄
- 43 溝口三三三 52 上妻敬二
- 53 松中弘幸 63 東 悦雄
- 三、一〇〇円

- 59 大森武
- 三、〇〇〇円
- 41 河端 保 41 山口 実
- 42 辰田時行 49 上原邦広
- 50 篠原 稔 50 吉田匡宏
- 52 宮川隆博 56 運天 誠
- 56 田中祥介
- 二、〇〇〇円
- 43 茨 雅章 44 松浦 幹
- 46 石森利一 49 池田隆人
- 52 奥野 聡 52 古座鈴三
- 平1 浅野康哉
- 一、〇〇〇円
- 41 中原英男 41 山山真太郎
- 41 福永哲哉 41 藤原 学
- 42 佐藤 勉 42 勇崎 務
- 43 寺田忠司 44 武内 勇
- 44 緒岡 昇 46 長尾和己
- 45 石本 広 46 小西雄二
- 46 松本勝一 46 佐喜真正行
- 47 鹿野千栄延 47 国方 茂
- 47 羽田野 明 47 松井芳春
- 47 森 典嗣 48 中田美記雄
- 48 平井精一 49 辻 一高
- 50 権上一博 55 今津勝彦
- 56 田中雅史 56 山根浩之
- 57 久軒佳彦
- 寄付
- 前田昌男校長
- 田中孝治教頭
- 秋田 要事務局長
- 三羽昭典(旧職員)
- おわびとお祝い
- 9/11~13日の間に振込
- まれている3件金額計五、
- 〇〇〇円に当たるものが氏
- 名・卒年料が不明となつて
- います。申し分けございま
- せんが、該当の方のご連絡
- をおまちいたしましたので、
- 係として深くお詫びい
- たします。(会計 佐々木史)

- おわび
- 63年度の会費納入者一覽
- のところで、次の繊維工業
- 科の現金納入者の記載もれ
- がありました。お詫び申し
- 上げます。
- 一〇、〇〇〇円
- 16 辻村弘
- 六、〇〇〇円
- 42 木内利雄
- 三、〇〇〇円
- 63 内田博之
- 一、〇〇〇円
- 12 萩原道夫
- おわび
- 友仁堂写真館
- 九条ランドリー
- すし勇頼
- 大成水産
- 一〇、〇〇〇円
- 大成ハウジング(株)
- 柳松利
- やまがそば
- 市岡建設(株)
- 益田組
- エイコー測器(株)
- 間機設工業(株)
- 柳黒川染工場
- 柳新光建材
- 柳日商機械
- 柳上野精器(株)
- 柳タイストサービス
- キレスト化学(株)
- 金剛ダイス工業(株)
- 北嶋染工(株)
- 美吉野ヤマト、内田電装
- フジケミカル(株)
- 心齋橋 大吉
- 平岡染料店
- 泉化成品(株)
- 日南印刷
- シマ精機
- 木原フネトグラフ
- イサム塗料(株)

総会のご案内

総会は泉工卒業生みんなの集いです。  
お気軽に大成閣へお集り下さい！  
懐かしい顔、すぐに思い出せない顔、昨  
日も会っていた顔、顔、顔……。  
今年卒業された方も、どんな先輩達が  
いるのかちよつとのぞいてみてはいかが  
でしょうか……。

日時 7月20日(金)PM6時半

会場 大成閣

TEL(06)271-5238  
(大成閣大丸ビル11階1112号)  
(心齋橋大丸ビル11階1112号)



会費 五、〇〇〇円

ただし、平成元・二年の卒業生は二、〇〇〇円  
議事時間を短縮しますので会費の法算、予算  
等をお目通しおき願います。